

新総合計画策定 市民ワークショップ 結果報告書



令和6年2月
柏市

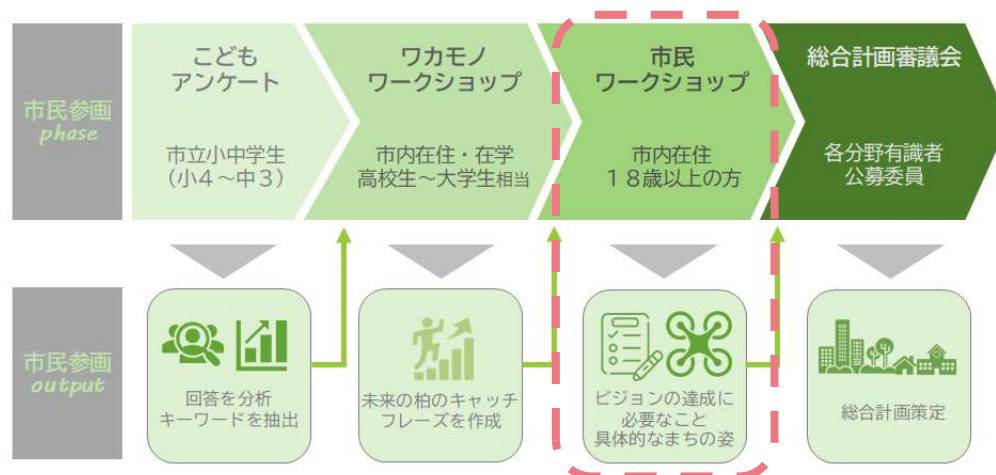
《目次》

1. 市民ワークショップの概要.....	1
(1) 実施の目的.....	1
(2) 開催日時・場所.....	1
(3) 募集方法・参加者.....	1
2. 市民ワークショップの経過.....	2
(1) 当日の流れ.....	2
(2) グループごとの議論・意見の内容と結果.....	3
①Aグループ.....	4
②Bグループ.....	8
③Cグループ.....	12
④Dグループ.....	16
⑤Eグループ.....	20
⑥Fグループ.....	24
⑦Gグループ.....	28
⑧Iグループ.....	32
⑨Jグループ.....	36
⑩Kグループ.....	40
⑪Mグループ.....	44
⑫Nグループ.....	48
⑬Oグループ.....	52
(3) 当日の様子.....	56
3. 総括.....	58
4. 資料.....	63

1. 市民ワークショップの概要

(1) 実施の目的

- ・今後のまちづくりの指針となる新総合計画の策定にあたって、市民の意見を聴取すること。
- ・市民が想像する未来の柏市への想いを汲みとりつつ、まちづくりへの関心や関係性を高めるとともに、市民が市政に関わる機会を創出すること。



(2) 開催日時・場所

【開催日時】

令和5年11月18日(土) 13:00～17:00

【開催場所】

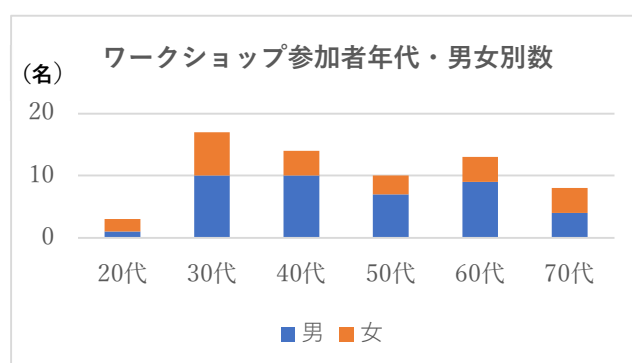
ラコルタ柏 4階集会室1・2・3

(3) 募集方法・参加者

柏市に住民登録のある成人3,000人を無作為に抽出し、参加募集案内を送付しました。
参加申込者101名に対し、当日は65名が参加しました。

【参加者内訳】男性41名、女性24名

10代0名、20代3名、30代17名、40代14名、50代10名、
60代13名、70代8名



2. 市民ワークショップの経過

(1) 当日の流れ

1グループ5～6人程度の13グループに分かれ、グループごとに、未来の柏市のビジョンを選んだ後、カードを用いたワークショップである「ローカルダイアログ」を通して、柏のまちづくりの現状について話し合った。その後、グループとして選定したビジョンを達成するためには、具体的にどんなまちの状態になっていたらよいか意見を出し合った。

時間	内容	備考
13:00～13:50	開会・オープニング	部長挨拶、「新総合計画」・「新総合計画おける市民参画について」・「柏市の現状」説明
13:50～13:55	休憩	
13:55～14:00	ファシリテーター紹介, WS 概要説明	影山氏
14:00～14:05	ビジョンカード2枚の選定（個人）	
14:05～14:20	ビジョンカードの選定理由発表, 自己紹介	自己紹介, ビジョンカードを選んだ理由をグループ内で発表
14:20～14:25	グループのビジョンカード決定	グループで話し合い, ビジョンカードを1枚選定
14:25～14:30	ビジョンカードを用紙に貼付し, 理由を記入	
14:30～14:35	休憩	各グループにワーク用のシートを配布
14:35～14:40	司会の決定	グループ内で A～E のカテゴリそれぞれの司会と記録役を決定
14:40～15:30	ダイアログカードを通じたワーク	各カードに対する各自の考えを話し合い, 意見を用紙に記入 グループで各カードの「YES」・「NO」を多数決で決定し, 結果を記入
15:30～15:45	休憩	
15:45～16:00	ダイアログカードの選定	グループで選んだ「ビジョンカード」のビジョンを達成するために, 重要だと思うダイアログカードをグループで3枚選定
16:00～16:05	ダイアログカードの転記	選んだ3枚のダイアログカードの内容を, 「～な（まちの）状態」の形に書き変えて転記 グループの答え（「YES」・「NO」, 何人中何人がその答えだったか）も転記
16:05～16:35	ビジョンの具体化	転記したビジョンカードをより具体的に表現（＝ビジョンを達成した具体的なまちの姿）
16:35～16:40	他グループ結果閲覧	他のグループの結果を見て回る
16:40～16:45	まとめ	影山氏によるワークの総評
16:45～16:50	閉会	課長挨拶

(2) グループごとの議論・意見の内容と結果

本項では、13グループごとに、次の結果を掲載する。

1) 模造紙再現版

グループごとに作成した模造紙を再現したもの。模造紙には、グループで選定したビジョンカードを貼付し、その選定の理由、ビジョンを達成するために重要だと思うこと、ビジョンを達成した具体的なまちの姿を記載した。

2) ワークシート再現版

グループごとに作成したワークシートを再現したもの。ローカルダイアログ手法を用いて、次の項目について、柏市のまちづくりの現状がどのようになっていると思うか、一人ずつYES/NOの考えを述べた後、グループで各項目のYES/NOを多数決で決定し、ワークシートに記載した。

《A：まちのウェルビーイング》	住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う
	愛着や誇りを感じる地域だと思う
《B：行政との共創のしやすさ》	行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う
	政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う
《C：地域とのつながりやすさ》	子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う
	住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う
	地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う
《D：くらしやすさ》	子供が元気に遊んでいる地域だと思う
	緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う
	理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む）
	治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う
《E：地域資源の豊かさ》	にぎわいや活気があるまちだと思う
	地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組が行われていると思う
	企業や起業家の誘致が増えていると思う
	優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う

3) 話し合いの要点

グループワークの流れに沿って、グループごとに話し合ったことの要点を記載した。

①Aグループ

【A-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ

ワークシート

Aグループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（＝ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・とりにゆかなくとも情報が伝わっている ・地域課題について市も住民も関心をもって知り、解決しようとしている ・住民からも情報（双方向）のやりとりがある	・イベントや活動の情報がいきわたっている ・年齢、ニーズに即した情報媒体の活用がされている ・欲しい情報が行き届いている	・子ども、女性が不安なく歩ける ・街灯や防犯カメラといった防犯面や交通安全が確保されている ・日頃から地域でコミュニケーションがとれている
YES 2/5 NO 3/5 行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題に取り組むまち	YES 0/5 NO 5/5 住んでいる地域をより良くしたりする活動に参加している人が多い	YES 4/5 NO 1/5 治安が良く安心して暮らせるまち

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照

	①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう
②選んだ理由を書き込みましょう ◎包括的に、交通・活力・住みやすさを語れるフレーズである ◎解釈によって広げられる 手軽に・・・ サイフの・・・ ロングライフ	②選んだ理由を書き込みましょう

【A-2】ワークシート再現版

④ 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・自然豊か ・人とのつながり ・住みやすさ ・バランスがとれている ・文化と施設 ・行政主導 ・サービス悪 ・財政難 ・市との関わり少ない YES ☒ NO ☐ 3/5	④ 愛着や誇りを感じる地域だと思う ・現在不満なし ・総合的に◎ ・住環境 ・教育施設 ・交通の便が良くなれば… ・学校の選択肢 ・都心へのアクセス ・高齢化 都心の方が公共サービスが良い YES ☒ NO ☐ 3/5	⑤ 行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・柏の葉キャンパスまちづくり協議会 ・マンションの理事会・議事録共有 ・情報を取りにいかないとわからない ・ワークショップ等参加しないとわからない ・URの情報共有で充分である YES ☒ NO ☐ 3/5	⑥ 政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・柏独特の工夫は無い ・知らない・伝わらない ・興味がある人、ポジティブな意見の人にしか伝わっていない YES ☒ NO ☐ 4/5
⑦ 子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・地元と連携したイベント多い ・子ども、高齢者（老人会、自治会）を巻き込んだイベント有 ・イベントがあっても知らない ・案内がくるコミュニティにいないと知る経路がない ・今後は成り立たないのでは？ YES ☒ NO ☐ 4/5	⑧ 住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・活動自体を知らない人が多い ・参加者が多いかは微妙 YES ☒ NO ☐ 5/5	⑨ 地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・団地のグループ、旧市街地に住む人で対立している、接点がない ・人の出入りが少ない、都市計画での制限がある ・推進している地域もある（柏の葉等） ・転出よりも転入が多い ・地域によっては受け入れ YES ☒ NO ☐ 3/5	⑩ 子どもが元気に遊んでいる地域だと思う ・自然は豊かだが、公園等 ・管理された場所は少ない YES ☒ NO ☐ 3/5
⑪ 緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・情報を持っているコミュニティ（マンション、団地） ・防災のとりくみ聞いたことがない YES ☒ NO ☐ 3/5	⑫ 理想の子育てができるような環境があると認める（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） ・手厚いサポートは感じない ・流山は充実してる ・選択肢が少ない YES ☒ NO ☐ 5/5	⑬ 治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ・子供、女性が歩くには不安 ・街灯、横断歩道が整備されていない ・松戸と比べるとイメージは良い ・柏の葉、スマートシティ構想 ・防犯カメラ設置 YES ☒ NO ☐ 4/5	⑭ にぎわいや活気があるまちだと思う ・昔からのイベントが残っている ・市街地のにぎわい有 ・多様性はあるが、外から来る人のみなのでは？ ・地域の活力はエリアによって差 ・人の密度は普通 ・活気あるイメージはない YES ☒ NO ☐ 3/5
⑮ 地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・手賀沼周辺イベント多い YES ☒ NO ☐ 4/5	⑯ 企業や起業家の誘致が増えていると思う ・市内全体でみると少ない ・わからない YES ☒ NO ☐ 5/5	⑰ 優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・実感あり ・手賀沼、柏の葉公園、T-SITE ・農地、あけぼの山公園 YES ☒ NO ☐ 5/5	A グループ

【A-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・まず、5つのビジョンカードのうち「童心～」を除く4枚が選ばれた。「童心～」が選ばれなかった理由については、童心とは何か解釈が難しいのではないか、という意見が主であった。
- ・選ばれた4枚のビジョンカードのうち、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。
- ・その理由は、他の3枚のビジョンカードが表現しようとしていると思われた主たるテーマ、すなわち、公共交通が便利なまち、活力があるまち、市民が住みやすいまちが、もっとも包括的に表現でき、かつ、多様な主体の参画によるまちづくりや、地域での支えあいなどの盛んな様子も想起されるなど、解釈によって広がり・深みを持たせられる表現であるとのことであった。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、意見が分かれた。定住したい理由としては、自然豊か、人と人とのつながり、都市と自然のバランス、などがあげられた。一方、愛着・誇りを感じない理由としては、都心へのアクセスは良いが地域内の交通が便利でない、高等学校等進学先が限られる、都心に近い自治体の方がサービスの質が高いのではと感じる、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。自ら取りにいかないと行政情報がわからない、住民を巻き込むために柏市独特の工夫はない、知らないと伝わらない、興味がある人やポジティブな姿勢の人にしか伝わっていないのではないか、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思うという意見が多かった。子ども、高齢者など多世代が参加できる地域のイベントは多い、柏の葉など地域外の人への受け入れを推進している地域がある、などがあげられた。一方、地域活動の参加者が多いかどうかはわからないとされた。

《D：くらしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。自然は確かに多いが、安心して遊べるような管理された自然と言えるか疑問。緊急時の情報入手は、コミュニティに属していないと情報がない。子育てについて、特に手厚いサポートは感じない、流山市など環境が充実している地域とどうしても比較してしまう、子育て環境の選択肢が少ない、などがあげられた。一方、治安については、柏の葉では安全安心まちづくりが進んでいる、市内での防犯カメラ設置が進んでいる、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思うという意見が多かった。昔ながらのお祭り等イベントが残っている、柏駅前では市街地のにぎわいがある。花火大会等自然的資源を活かしたイベントがある。手賀沼や柏の葉公園、農地、あけぼの山公園等、恵まれていることが実感できる、などがあげられた。一方、柏の葉地域では起業も盛んなように感じられるが柏市全体として多いイメージはない、そもそも、参加者には情報がなくわからない、などがあげられた。

総じて、地域資源の豊かさについては肯定的な意見が多かったものの、それが《A：まちのウェルビーイング》に繋がっていない、もっと自然を活かすべき、との議論がなされた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」「政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う」「行政と住民の間に情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」、「住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う」「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」の6枚が、《B：行政との共創のしやすさ》を重視する観点等から選ばれた。
- ・このうち、「政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う」「行政と住民の間に情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」には類似性があるとして後者に一本化した。また、「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」はスーパーゴールと捉えられ、将来像の上位にあるとの議論がなされた。更に、「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」は既に実現されているため、選定から除かれた。
- ・この結果、行政との共創、地域とのつながりやすさ、くらしやすさを重視し「行政と住民の間に情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」、「住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う」「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」の3枚が選定された。

4 アウトプット

◎行政と住民の間に情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいる

- ・現状では、市 HP 等を熱心にみるなど情報を「とりにいく」必要があるが、とりにいかなくとも情報が伝わっている状態が望ましい。
- ・地域課題について、市も住民も関心をもって、知り、解決しようとしている状態が望ましい。現状では、知ろうとしているか、解決しようとしているか、伝わってこない。
- ・住民からも情報を発信し、市と双方向のやりとりがある状態が望ましい。情報の一方通行ではなく、SNS の浸透を背景に、発信できる市民は多い。

◎住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多い

- ・欲しい情報が行き届いている状態、イベントや活動の情報がいきわたっている状態が望ましい。行政と市民だけでなく、市民同士の情報のやりとりも重要ではないか、という議論があった。
- ・年齢、ニーズに即した情報媒体の活用がされている状態が望ましい。デジタルデバイドへの配慮も必要であるが、ニーズに即した情報のやりとりができる環境であればよい。
- ・ここまでの◎2つはいずれも情報に関するものであり、「まず、関心をもって知ること」とともに、「欲しい情報にふれられる環境があること」の重要性が強調された。

◎治安が良く、安心して暮らせる

- ・子ども、女性が不安なく夜道を歩ける状態が望ましい。現状では、まだまだ暗くて危険を感じる道も多く、継続的な改善が求められる。
- ・街灯や防犯カメラといった防犯環境や、交通安全が確保されている状態が望ましい。ハードソフトともに環境が整っているとは言い難い。
- ・日頃から地域でコミュニケーションがとれている状態が望ましい。地域での助け合いだけでなく、これが実現されていれば暮らしやすさが高まり、冒頭に選定したビジョンの実現に近づく。

②Bグループ

【B-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

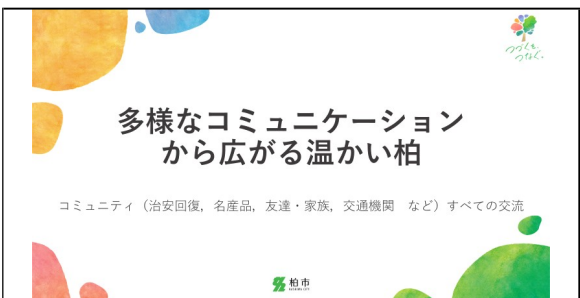
B
グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（＝ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・安心は治安以外にも含む ex.災害、医療、福祉 ⑤ 個人的に対応がわかれている →コミュニティで統一 ⑥ あいさつ運動 みなし学童保育 ↓ 肩ひじ張らず 持続可能な形が必要 (NO属人化)	・全世代に刺さるイベントはない ↓ 色々な種類のイベントを準備して、全体をカバーする - ex.夏祭り →苦手な人…読書会 趣味の会＝・レコード会 ・散歩会 ・フリマ ・0円マルシェ ・おしゃべり会 (コロナで打撃) (グループ固定化の弊害もある)	
YES 4/4 NO 0/4	YES 4/4 NO 0/4	YES / NO /
治安が良く 安心して暮らせる まち	子供から高齢者まで 多くの世代が参加できる ような地域活動が ある	

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照

 多様なコミュニケーション から広がる温かい柏 コミュニティ（治安回復、名産品、友達・家族、交通機関 など）すべての交流	→ ・様々な人が住んでいる 多様化（価値観・年齢・生活様式）が進むなかで安全安心な町にするためにもコミュニケーションは大切。 ・閉じこもっている人もいる。コミュニケーションを活発な町にしたい。 - 不便に感じていない、普通に生活している分には満足している、完結できている、あえてコミュニケーションを求めている人が少ない→コミュニケーションを活発化→元気にしたい
---	---

①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう

②選んだ理由を書き込みましょう

【B-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・生活実感から、理屈なく良いまち YES NO 4/4	④愛着や誇りを感じる地域だと思う ・いい街だね YES NO 4/4	④行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・行政だとNo、自分の地域はYes ・道路とか修繕は良いが予算でNGというところもある YES NO 3/4	④政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・持続的感がない YES NO 4/4
④子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・運動 ・夏まつり ・レイソル YES NO 4/4	④住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・貼り紙で終わっている ↑ ・全戸配布等、地道なことをしている 柏市インフォメーションセンターとかFacebookとか (来てもらう人を増やす) YES NO 3/4	④地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・あまり意識したことない ・子供・PTAでつながる (間接的につながるルートが重要) YES NO 4/4	④子供が元気に遊んでいる地域だと思う ・感覚的に元気! YES NO 4/4
④緊急時に必要な情報(防災・安全など)をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・受け手の認識がまいご 環境が整っていないのでは? ・自治会では対応周知を徹底している ・自身+周りの安全→独居・隣人へ情報届けているか YES NO 2/4	④理想の子育てができるような環境があると思う(子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む) ・他と比べて教育インフラ(選択肢)がめくまれている(就学前も比較的) ・医療が整っている(病院多い) ・夜間緊急ダイヤルが24hでない ・保育料が高い YES NO 3/4	④治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ・安全灯がつけられない所ある ・不審者情報は連絡くる YES NO 4/4	④にぎわいや活気があるまちだと思う ・子供と行く ・飲み屋が多い ・手賀沼地域のスポットが目立ってなさそう YES NO 4/4
④地域の資源(産業・文化・芸術・歴史・環境・自然)を活かした取組が行われていると思う ・柏の葉でのITの取組 ・歴史?(戦前?)新しめでは ↓しびれがないという ・エリアによってはNo(手賀沼) ・取組が地味 YES NO 2/4	④企業や起業家の誘致が増えていると思う ・地味…(住民税が個人依存) ・長く住んでも工業団地→そごう・高島屋 →柏の葉(東大etc…) YES NO 3/4	④優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・駅から10分で田んぼ、沼 ・えどじょうし→森からイベント開催 できるまで ・色々ある(全体で捉えると特に) ・自分の地域、自然あって自由に遊んでる YES NO 4/4	B グループ

【B－3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・まず、5つのビジョンカードの全てが選ばれた。「財布～」 「童心～」を選んだのは1名のみであったが、地域活性化や、子どもとコミュニティの大切さなどを重視したとのことであった。
- ・選ばれた5枚のビジョンカードのうち、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。
- ・その理由として、ビジョンカードが表現しようとしていると思われる内容の根底にはすべて「コミュニティ」があり、多様化が進むなかで安全安心なまちにするためにもコミュニケーションは大切、普通に生活している分には満足でき、あえてコミュニケーションを求めている人が多いのでコミュニケーションを活性化して地域を元気にしたい、コミュニティの担い手が少なく活用への参加者も少ないといった現状の改善を図る必要がある、などが議論された。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。生活実感から理屈なく良いまちだと思われ、これからも住み続けたい。日常の実感から良いまちだと思われ、愛着や誇りを感じる、があげられた。全員がそう思うとした背景には、地域に長く住みコミュニティ活動をしている参加者が多く、日常的に地域とふれあっていることがある、といった議論がなされた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、意見が分かれた。地域課題は短期間で解決できるものではなく持続性がない。一方、住民を巻き込む工夫については、道路の修繕など、単純に言えばやってくれるし取り組んではいるのだろう、といった消極的な肯定意見が多くあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思うという意見が多かった。夏まつりや柏レイソルの応援等、多世代が参加する機会が多い。また、チラシの全戸配布等、地道なことを徹底しており周知されている。さらに、地域外の人への受け入れについては、あまり意識したことないが、移住してきた家族は、子ども同士や、親も学校PTAの活動でつながることができる、があげられた。

《D：くらしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。子どもが身近にいないとよくわからないのだが、日常的な実感から元気に遊んでいるようだ。子育てについては、医療・教育のインフラが他市と比較して整っている、保育等共働き家庭へのサポートも充実している。不審者情報がすぐ周知されるなど治安は良い、などがあげられた。一方、緊急時の情報入手については、受け手の認識に差異があり、情報に関する環境が整っていないように思える、独居の高齢者等どうしているのかわからず、一人ひとりに対応できているのか疑問、があげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思うという意見が多かった。子どもと行くところが多い、飲食店が多い。柏の葉地域では高等教育機関の誘致も含め、企業や起業家の誘致が比較的進んでいる。駅から10分で田んぼがある、手賀沼の存在、身近な地域にも、市全体で捉えても多くの自然的資源がある、などがあげられた。一方、地域の資源を活かした取組が地味、手賀沼地域では資源を活かしているとは思わない、などがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」の2枚が選ばれた。なお、時間の制約から、3枚の選定には至らなかった。
- ・このうち、「子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」については、子どもを地域活動に参加させたい、夏祭り等のイベントが大切、レコードが珍しい若い人もいるのでそういった人たちの参加を促す、といった議論を経て選定された。また、「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」については、防災等安全の確保はいずれにしても基本、発災時の対応のためにも大切、といった議論を経て選定された。

4 アウトプット

◎子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動がある

- ・現状では、全世代に刺さるイベントはないと思われるので、色々な種類のイベントを準備して、全体をカバーする状態が望ましい。
- ・例えば、夏祭りが苦手な人には読書会、趣味の会、フリーマーケット、気軽に参加できるおしゃべり会等が考えられる。
- ・ただし、グループ固定化の弊害には注意が必要である。活動が属人化するのは避けたい。

◎治安が良く、安心して暮らせる

- ・安心は治安以外も含む概念であり、例えば災害対策、医療・福祉等すべてが整っている状態が望ましい。
- ・現状では、地域によって、あるいは個人によって対応が分かれているようだ。このため、コミュニティで統一的に取り組む等が重要ではないか。
- ・地域でのあいさつ運動や、子どもの見守り等は大切である。肩ひじ張らず、持続可能な形が必要である。特定の個人に依存するのは望ましくない。

③Cグループ

【C-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

Cグループ

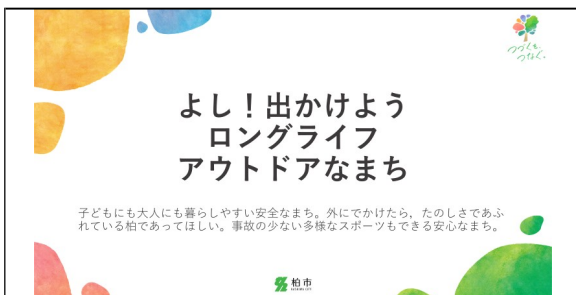
⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

◎地域の資源とは？ 意外と知られていない 地域資源あり スポーツ（ex.柏レイソル） 手賀沼、 市柏・流経 スポーツ、文化 学術（大学がある）防災 交通資源（鉄道、IC） 水、温泉（地下資源） ◎子育てしやすい、 長く住み続けたい、 稼げるための資源の活かし方 とは？ 東大等ある、人材や環境はある ⇒<u>起業家を誘致する仕組みづくり</u> 産業連携で新しい取組を	・流山市のような充実した <u>保育サービス</u> ・<u>医療サービス</u>にアクセスしや すい安心できる環境 ・医療、保育・教育、住居など が一体となる<u>子育て特区</u>、 コミュニティを作ってもよい のでは？ ・行政施設（公民館など）のハー ドを変えなくても、サービス を見直す発想の転換があってもよい →親子歓迎、子育て相談etc.	・街のにぎわいを取り 戻すためには中心地 に子育て世代が住み やすい街づくりが 必要 ・街に暮らし続ける、 移住してきた場合の インセンティブがあ るのが一番直接的に 良い ・新しいものを取り込 んで（ハード、ソフ トともに）住みやす い街づくりを続ける こと
---	--	--

YES 4/5 NO 1/5	YES 4/5 NO 1/5	YES 5/5 NO 0/5
地域の資源（産業、文 化・芸術・歴史、環 境・自然）を活かした 取組みが行われている まち	理想の子育てができる ような環境があるまち （子育てに関する家族や地域、 会社のサポート、社会制度など を含む）	住んでいる地域に これからも住み続けたい と思うまち

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



・ロングライフ 持続可能な街 ・スポーツの街 アクセスの向上 スポーツビジネスによる魅力 作り ・子どもとともにアウトドアを楽しめる
--

②選んだ理由を書き込みましょう

【C-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・長く住めそう ・街ですべてのことを完結できる ・利便性 家族の利便性 ・買い物、交通利便 ・文化、駅前、スポーツ ・災害に強い YES ☒ NO ☐ 5/5	④愛着や誇りを感じる地域だと思う ・愛着を感じる程長く住んでいない ・柏まつり等市民が参加できるものがある ・文化を重んじてない ・実験都市／先進の実験をする ・柏まつり等市民が参加できるものがある YES ☒ NO ☐ 3/5	⑤行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・できるわけがない ・ぼんやりしかしない ・渋滞とか何もしない ・ルールがない ・コミュニケーションがダメ YES ☐ NO ☒ 5/5	⑥政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・3年しか住んでないので判断困難 ・柏くらいの規模の市で多くの市民の意見を聞くのは無理がある ・知らなかった、何回もやっているWSも市民が知らなかった YES ☐ NO ☒ 4/5
⑥子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・イベントは多い ・花火大会 ・祭り YES ☒ NO ☐ 4/5	⑥住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・イベントをしている ・商店が柏まつり参加 ・子供会の開催 YES ☒ NO ☐ 4/5	⑥地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・外から来る人でできた町 ・伝統はないかもしれないが受け入れ易い ・柏の地域の人優しい ・転入したてでも排他的なところを感じない YES ☒ NO ☐ 5/5	⑥子供が元気に遊んでいる地域だと思う YES: 駅前の大きな公園で遊んでいる 見えている中で多い印象がある YES ☒ NO ☐ 5/5
⑥緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・防災無線が多い ・インターネット上の情報が充実している ・緊急時防災無線が聞こえない、何を言っているかわからない ・ワクチンの情報共有が遅かった YES ☐ NO ☒ 3/5	⑥理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） No: 流山と比較 Yes: 自然多のびのび行政サービス不明学校が荒れていない YES ☒ NO ☐ 4/5	⑥治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う No: データで出ている警察が1つの北部がカバーできない 車上荒らし Yes: 不審者の情報共有教育（対策の動きが良）都内と比べると良い方 YES ☒ NO ☐ 4/5	⑥にぎわいや活気があるまちだと思う ・商店街もあり活気ある ・人口増 にぎわいある ・若者層が多い ・柏デビューなど単語もある ・地域イベントが多い 参加できる ・人が集まる街 ・地元の人も外に出て活動できる街 YES ☒ NO ☐ 5/5
⑥地域の資源（産業・文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・民間の土地の有効活用はしていると感じる ・ニッカウイスキーあるけど知られていない、もったいない ・手賀沼マラソンなどの活用 ・少ないながらも文化活かしている、活かしてはいい、アピールしきれてなくてもったいない 消極的な YES ☒ NO ☐ 4/5	⑥企業や起業家の誘致が増えていると思う ・わからない ・いつとの比較による ・民間主導のとおりくみはあるけどネガティブなニュース ・イノベーションラボなどはいいけど少ないのでは？ ・企業が来やすい、起業しやすいしくみがある！PRされていない ・増えている実感ない YES ☐ NO ☒ 5/5	⑥優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う No: まちなみ景観 バラつきある自然環境はよい Yes: 新しくつぎたされた街にしてはきれいにできている方ではないが自然環境が優れているカブトムシ、オニヤンマまだいる都心のごみごみした感じに比べれば静けさが保たれている YES ☒ NO ☐ 3/5	C グループ

【C-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードのうち「駅から始まる～」を除く4枚が選ばれた。「駅から始まる～」が選ばれなかった理由は、公共交通に限定され解釈が広げにくい、ということであった。
- ・選ばれた4枚のビジョンカードのうち、最終的に選定されたビジョンカードは「よし！出かけよう ロングライフ アウトドアなまち」であった。
- ・その理由は、「ロングライフ アウトドア」が、解釈によって広がり・深みを持たせられる表現であるとのことであった。具体的には、「ロングライフ」からは未来に続く持続可能なまちのイメージが描け、また「アウトドア」からはアクセスの向上、スポーツ振興、スポーツビジネス等によるまちの活性化といったまちのイメージが描ける、といった議論がなされた。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。定住したい理由としては、長く住める、街ですべてを完結できる、交通便利性が高く、買い物などの便利さも高い、文化性、駅前の賑わい、スポーツ、災害に強い、農業が盛ん、などがあげられた。愛着や誇りを感じる理由としては、柏の葉地域では先進的な取組が行われており誇らしい、があげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。行政と住民との情報共有と地域の課題解決については、現状からできるわけがないと感じる、地域の課題に気づいていないのではないか、市民の声を聞く枠組やコミュニケーションに乏しく感じる、などがあげられた。住民を巻き込む工夫については、3年間住んで知って参加できたのが本ワークショップだけ、柏市の人口規模では難しいのではないか、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思うという意見が多かった。地域のイベントが多い、花火大会やお祭りなどの参加機会がある。多様な人が参加できるイベントが多い、子ども会や小学校を起点とした催しも多い。外から来る移住者と来訪者がつくりあげたまちだと思う、伝統はないかもしれないが移住者を受け入れる土壌はあり排他的なところはないとされた。

《D：くらしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。親子連れで遊びに行ける大きな公園が多い、手賀沼や柏の葉公園等遊べる場所が多い。また、自然が多く便利で子育ての環境として優れている、自然が多く子どもがノビノビできる、などがあげられた。さらに、治安については、不審者の情報共有がなされている、教育関係者の対策の動きが良い、などがあげられた。一方、緊急時の情報入手については、防災無線が聞こえない、ハザードマップが配布されていないのでパソコンがないと何もわからない、ワクチンの情報共有が遅かった、があげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思うという意見が多かった。人が集まるまちと感じられる、人口が増えた、若者が多い、茨城県等の若者が都心に出てくる前に柏に遊びにくる（柏デビューと呼ばれる）、地域イベントが多い、商店街に活気もある。また、継ぎ足して形成された街にしてはきれい、自然景観が良い、カブトムシやオニヤンマが生息する自然環境、などがあげられた。地域の資源を活かした取組については、消極的な肯定で、ニッカウイスキー等取組はなされているものの、知られておらずもったいない資源がある、手賀沼マラソンの活用をもっとすべき、文化を活かしきれてはいない、アピールしきれておらずもったいない、などの意見があげ

られた。一方、企業や起業家の誘致については、情報がなくわからない、イノベーションラボはあるがまだ少ないのではと感じる、企業が来やすく起業しやすい仕組みはあるがPRされていない、などがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」「理想の子育てができるような環境があると思う」の3枚が、ビジョンカードとの連動性を重視する観点等から選ばれた。
- ・具体的には「ロングライフ」を実現するためには「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」状態をつくることが、また「スポーツのまち」という趣旨を実現するために「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」状態をつくることが有効とした。
- ・また、「子どもとともにアウトドアを楽しめる」という趣旨を実現するためには、子育て世代の移住・定住が進まないと税収が増えない、子どもを取り巻く地域活動の活性化も含められることから、「理想の子育てができるような環境があると思う」状態をつくることが重要と考えた。

4 アウトプット

◎住んでいる地域にこれからも住み続けたいまち

- ・街のにぎわいを取り戻すためには子育て世代が住みやすいまちづくりが必要であり、永く住み続けられる状態をつくることが望ましい。
- ・まちに暮らし続ける、移住してきた場合のインセンティブがあると直接的な効果が期待できて良いのではないか、といった方法論に踏み込んだ議論もなされた。
- ・ハード、ソフトともに新しいものを取り込んで、住みやすいまちづくりを続けることが重要。

◎地域の資源を活かした取組が行われている

- ・柏の地域資源とは何か？柏レイソル、スポーツ、手賀沼、大学が立地する文化・学術的土壌、鉄道等の交通資源、水・温泉といった資源である。これらが十分に活用された状態が望ましい。
- ・子育てしやすいまち、長く住み続けたいまち、そして稼げるまちとするための資源の活かし方とは何か。地域資源の活用を通じ、全てのビジョンをつなげていくことができる。
- ・東大等の高等教育機関があり、人材や環境はある。このような環境を活かし、起業家を誘致する仕組みづくりが求められる。連携による新しい取組の展開が望ましい。

◎理想の子育てができるような環境がある

- ・流山市と柏市の違いは、保育園の送迎など充実した保育サービスである。子育て世代はソフト面を重視するので、強化された状態が望ましい。
- ・柏市は産婦人科・小児科が少ない。子どもが医療サービスにアクセスしやすい安心できる環境や、医療、保育・教育、住居などが一体となる子育て特区、コミュニティがあってもよい。
- ・公民館等、施設のハードを変えなくても、サービスを見直す発想の転換があってもよい。例えば柏市民が1世帯移住を呼び込んだら、双方にインセンティブがある等。

④Dグループ

【D-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

D
グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（＝ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・自然をそのままにしない ＝必要に応じた手入れ ・近隣の市町村との共同 (財源的な意味合い含む) ・柏特有の産業の発展(かぶ…) ・そもそも地域資源って？ →周知が必要：情報発信 ・“柏と言えばコレ”があるまち ・地域資源が市全体で知られている街 ・市全体で活動ができるまち ・地域ごとの資源を市がまとめられるまち ・魅力を市が発信するまち (かしわにくん)	・シンポジウムの増加 ・地域ごとでの話し合い ・地域の特色を深められるまち ・シンポジウムやWSの多いまち “日本一WSの多いまち!!” (40万人が市政に参加するまち) ・市民の意見を吸い上げるまち	・発信のしかた ＝見たくなるような形 ・多世代が活動に参加するまち ・活動への関心・意欲のたかいまち ・おまつりたくさんのまち
YES 0/6 NO 6/6 地域の資源を活かした 取り組みが行われている 状態	YES 1/6 NO 5/6 政策推進や地域活動に 多くの住民を巻き込む 工夫が見られる状態	YES 6/6 NO 0/6 子どもから高齢者まで 多くの世代が参加でき るような地域活動が ある状態

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照

	他の4つのビジョンの基本となると 考えられるため
--	-------------------------------------

①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう

②選んだ理由を書き込みましょう

【D-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う 市？ 地域？ ・愛着ある 3 ・誇り（何を誇りになるか） ・柏レイソル ・自治がしっかりしている もっと〇〇があれば感じる YES ・ NO 4/6	④愛着や誇りを感じる地域だと思う 住み続けたい 車がないと不便 YES ・ NO 5/6	④行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・何をしているか見えない ・町内会に頼りすぎている ・このような場がもっとあると良い ・回覧まわっているけど… ・提供のみしかしていない YES ・ NO 6/6	④政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・市が何をしているか見えない ・自分から情報を取りにいかないといけない ・シンポジウムがあると良い ・沼南地域が取り残されている YES ・ NO 5/6
④子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・子供中心、夏祭り活発 ・町内会はあるが参加していない ・高齢者中心 ・子供の集団登校 YES ・ NO 6/6	④住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・一定の人間に片寄っていると思う ・夏祭りぐらいかな？ ・町会単位で活発にやってくれると良い ・同じ顔ぶれ 多くない YES ・ NO 6/6	④地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・人の入れ替えが少ないのでわからない ・マンション反対運動があった ・自分が入居した時Welcome ・町のしきたりがある YES ・ NO 4/6	④子供が元気に遊んでいる地域だと思う ・遊ぶ所がない、ルールが多い ・子供が少ない ・遊んでいる子多い ・自転車乗っている子多い ボール遊びダメ YES ・ NO 4/6
④緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・防災放送聞こえない ・市からのメールが来る ・近くに防災公園ある ・地域活動に参加していないと情報入らない YES ・ NO 4/6	④理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） ・情報が入ってこない！ ・保育園、学校多く手厚い ・図書館近くにある ・養育施設あるし YES ・ NO 5/6	④治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ・駅前公園はいつも治安良し ・ヤンキーっぽい人いる ・住む地域による ・若者のやんちゃがいる YES ・ NO 3/6	④にぎわいや活気があるまちだと思う ・駅前が活気ある ・柏まつりあるし ・高齢者多し ・まだできることあるのでは YES ・ NO 4/6
④（④）の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・活かしきれていない ・空き家問題 ・人口減少が見えているのに宅地造ってどうする ・市民が感じるまでに至っていない I YES ・ NO 6/6	④企業や起業家の誘致が増えていると思う ・北柏、柏の葉 YES ・ NO 6/6	④優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・バラバラ感あり ・自然は豊か（ほったらかし） ・住んでいる地域はルールある YES ・ NO 4/6	D グループ

【D-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードの全てが選ばれ、特に「駅から始まる～」が最も多くの参加者から支持された。その理由は、市内交通利便性の向上は課題であるし、手賀沼をもっと身近にすべきとのことであった。
- ・しかしながら、その場合は公共交通と手賀沼に限定されないか、ピンポイントのテーマは避けるべきではないかといった議論がなされ、「駅から始まる～」は最終的に選定されなかった。
- ・選ばれた4枚のビジョンカードのうち、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。その理由は、「コミュニケーション」こそ、他の4つのビジョン実現の基本となると考えられたためである。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。定住したい理由としては、実家が近い、自然に恵まれ病院も充実している、などがあげられた。愛着や誇りを感じる理由としては、柏レイソルの誇らしさ、住みやすい、自然が豊か、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。市が何をしているか見えない、町内会に頼りすぎている、市は情報提供のみしかしていない、沼南地域が取り残されている、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。唯一、多世代参加の地域活動については、子どもを中心とした催しが多い、夏祭りが活発、子どもの集団登校を通じ地域住民の参加が促された、など肯定的意見があげられた。一方、地域で活動する者が特定の人に片寄っている、同じ顔ぶれであり多くはない。マンション建設反対運動がある、しきたりが多い地域がある、など地域外の人を受け入れる雰囲気がない、があげられた。

《D：くらしやすさ》については、意見が分かれた。元気に遊んでいる子が実際多い、自転車に乗って遊びに行く子が多いイメージである。子育てについては、保育園や学校が多く充実している、待機児童が少ない、障碍児の支援施設も多い、などがあげられた。一方、緊急時の情報入手については、防災無線は聞こえない、地域活動に参加していないと情報が入ってこない、などがあげられた。また、治安については、身近なところでの犯罪が多い、やんちゃな若者が多いイメージがある、駅周辺など夜は怖い、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思わないという意見が多かった。にぎわいや活気については、地域によるが高齢者が多く今後が心配、などがあげられ、まだまだできることがあるだろうという議論がなされた。また、豊富な資源を活かしきれていない、人口減少局面にいずれ入るのに宅地造成が続いている、空き家問題が生じている。自然景観は良いが放置気味であり、街並み景観にバラバラ感がある、などがあげられた。また、企業や起業家の誘致については、柏の葉地域に限定されている、地域格差がある、そもそも情報がない、などがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」「政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う」「子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」の3枚が、次の視点から選ばれた。
- ・ビジョン「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」を実現するためには、地域資源の活用、市民活動への参加促進、地域でのつながりやすさが重要である。
- ・「NO」が多かった領域を課題と捉え、その部分を克服し伸ばしていくべきである。学術・産業基盤等を活かして企業が増えれば、経済が発展し、人口も増加させられる。地域資源を活用する取組は、コミュニティ醸成にもつながる。

4 アウトプット

◎地域の資源を活かした取組が行われている

- ・“柏と言えバコレ”があるまち、地域資源が市民に広く知られているまち、その魅力を発信できるまち、市・市民全体で活用に向けた取組はできるまち、が望ましい。
- ・そのためには、自然をそのままにせず必要に応じて手入れをすることや、柏ならではの産業・産物、例えば農業であればカブなどに注力する、財政面も考慮して近隣自治体と連携して広域的に取り組む、といったことが必要と考えられた。
- ・また、そもそも地域資源って？と感じる市民が多いであろうことから、周知、情報発信が重要であるとの議論もなされた。

◎政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られる

- ・“柏と言えバ”といった特色を深められるまち、市民の意見を吸い上げるまち、例えばシンポジウムや市民ワークショップが多いまち、が望ましい。
- ・この市民ワークショップは良い機会と考えられたことから、ワークショップが日本一多いまち、40万人がまちづくりに参画するまち、といった方向性も面白いと考えられた。
- ・基本となるのは、市民と市民の話し合いである。その機会をどのように増やしていけるかが、今後も重要だという議論がなされた。

◎子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動がある

- ・多世代が活動に参加するまち、地域活動への関心や参加意欲の高いまち、お祭りがたくさんあり、にぎやかで活動参加しやすいまち、が望ましい。
- ・このような状態を実現するためにも、情報発信がとても重要である。「ホームページをご覧ください」は乱暴ではないか。きめ細かく、楽しく発信すべきとの議論がなされた。
- ・例えば、インフルエンサーに広報してもらおう、「カシワニ君」をもっと活用して発信する、といったアイデアについても話し合われた。

⑤ E グループ

【E-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

E
グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・イベントを行う ・柏に関係した行動や販売 ・送迎バスがあるといい ・SNSで発信 ・子供達が安心して遊べる所 ・児童館の充実	・情報をSNSで発信する ・産業のPR（伝統工芸） ・観光案内所をもうける（市民も利用できる） ・市民が農業体験できる ・ブランド作り（野菜、米、豚肉、ジャム等、手造り品）	・参加するための交通の確保 ・まつり、みこし ・柏、地元の物を使ったイベント ・柏カルタ大会
YES 2/5 NO 3/5 にぎわいや活気があるまち	YES 0/5 NO 5/5 地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境、自然）を活かした取組みが行われているまち	YES 2/5 NO 3/5 子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があるまち

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照

	・子供や大人達が集まれる場所がほしい ・いろいろな世代の意見の交流ができる ・多様な価値観を受け入れる社会
--	---

①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう

②選んだ理由を書き込みましょう

【E-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・駅に近い ・長くすんでいる ・不便がない ・ご先祖様におこられます No 地理的に不便 YES • NO 4/5	④愛着や誇りを感じる地域だと思う 愛着感じられるものがある 同級生など柏で生まれ育っている No ・高齢化で地域に店がなくなっている ・生まれ育った所が住みやすい YES • NO 3/5	⑤行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・市民ワークショップをしたことが良かった ・困ったときに行政に行くこと相談のってくれる ・解決しようとしてくれる ・やろうとしてくれている ・言っていたことと違うことをされて不信感がある ・見えてきていない YES • NO 3/5	⑥政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・工夫している感じはなくこれまでのことをやっている ・団地だと協力しながら活動している ・町会の仕事をするようになって近所の人も話すようになった ・人が減っている課題はあるが何とかしたい ・地域差がある YES • NO 3/5
⑦町会から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う コロナの影響でなくなっている町会から抜ける方が増えている 多様性が悪い方向になっているかも YES • NO 3/5	⑧住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う 見かけない 見守り（子供）はいいと思う YES • NO 5/5	⑨地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う 特に否定することがない YES • NO 3/5	⑩子供が元気に遊んでいる地域だと思う ・そもそも子供をみない ・昔はよくみた ・遊んでいる子多い ・交通量が多く危ない YES • NO 3/5
⑪緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・市のメールがくる ・情報がくる ・町会で備蓄している（防災対策） YES • NO 3/5	⑫理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） ・育児サポートが会社である ・はぐはぐを利用したり相談ができる YES • NO 4/5	⑬治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ・スクールゾーンに変人が多い ・泥棒が多い YES • NO 4/5	⑭にぎわいや活気があるまちだと思う ・地域格差がある ・駅前（柏）のデッキはにぎやか ・高齢者多し YES • NO 3/5
⑮地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・情報を知るところがない ・参加したくてもできない ・何が産業かわからない YES • NO 5/5	⑯企業や起業家の誘致が増えていると思う ・一般市民には見えてこない YES • NO 5/5	⑰優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・道路の整備（歩道のないところが多い）をもっとしてほしい YES • NO 5/5	E グループ

【E-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードのうち、「財布の紐～」を除く4枚が選ばれ、特に「多様なコミュニケーション～」と「童心になれる～」が多くの参加者から支持された。
- ・前者が支持された理由は、子どもから高齢者まで、様々な市民がコミュニケーションできている状態を表すだけでなく、市民と行政のコミュニケーションも活発で、市民の想いを受け止めようとする市政・市職員の姿勢が感じられるというものであった。また後者が支持された理由は、子どもを大切にし、若者の活躍が促されるというものであった。
- ・議論の結果、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。選定された理由は、「コミュニケーション」から、市民と市民の温かい交流や、市民と行政の連携が想起される点が重要視されたことにあった。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。定住したい理由としては、先祖代々永く住んでいるから、不便を感じていないから、駅の利用が便利だから、などがあげられた。愛着や誇りを感じる理由としては、愛着を感じられる資源がある、永く暮らし同級生などとともに柏で生まれ育ったから、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。本ワークショップの実施に市の姿勢が感じられる、困ったときに行政に行くと相談にのってくれる、などがあげられた。住民を巻き込む工夫については、古い団地では見守り等に工夫がなされている、町内会の仕事をするると多くの住民と話すようになる、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。コロナ禍の中で多世代で参加できる活動の機会が減った、町内会を脱退する方もいる。子どもの見守り等はいいいと思うが、盛り上げようと頑張っている人を身近ではあまり見かけない、などがあげられた。一方、地域外の人を受け入れる雰囲気の有無については、居住地の地域性の差異により意見が分かれた。

《D：くらしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。子どもが少ない地域では子どもを見ない、交通量が多く子どもが遊ぶ環境としては危ない。子育てについては、地域によっては道路整備が進んでおらず、病院も少ない、などがあげられた。また、緊急時の情報入手については、メール受信の設定や、地域活動への参加をしていないと情報が入ってこない、などがあげられた。一方、治安については、全般的に治安が良いと思われる、など肯定的意見があげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思わないという意見が多かった。地域差はあるが高齢者が多く活気があるように思えない。地域の資源を活かした取組については、情報がないのでわからない、自然・歴史など柏の資源は豊富にあると思うが発信が弱いので伝わらない、柏の産業が何かわからない、などがあげられた。また、企業や起業家の誘致については、そもそも情報がない、一般市民にはわからない、などがあげられた。一方、手賀沼周辺の自然の豊かさがあげられ、併せて、手賀沼周辺の道路整備の必要性についても議論された。

3 ダイアログカードの選定

- ・「にぎわいや活気のあるまちだと思う」「地域の資源を活かした取組みが行われているまちだと思う」「子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」の3枚が、次の視点から選ばれた。
- ・ビジョン「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」を実現するためには、ビジョンとの連動性の高い取組は必要である。この点、「子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」は、ビジョンに直結する。
- ・また、「にぎわいや活気のあるまちだと思う」状態、「地域の資源を活かした取組みが行われているまちだと思う」状態をつくることも、ビジョンの実現に直接つながる重要な取組ではないかと議論がなされた。

4 アウトプット

◎にぎわいや活気がある

- ・イベントで柏ならではのものが売られているなど、柏を意識した企画と行動があり、イベント会場の送迎バスなど移動も便利で、それらがSNSで広く発信されている状態が望ましい。
- ・また、子どもたちが安心して遊べる場所があれば、まちもにぎわい活気も出る。このための場づくりや、子どもの拠点としての児童館の充実が図られればよい。
- ・主要なイベント、例えば夏祭りを過ごしやすい時期に変更して、多くの人を集めるのも良い。

◎地域の資源を活かした取組みが行われている

- ・カブ等の野菜・米・豚肉・ジャムなどによるブランドづくり、農家による手作り品づくり等が行われ、それらが、伝統工芸品も含め広く柏の資源としてPRされている状態が望ましい。
- ・親戚や友人が柏に来て観光案内所がないため、どこを見せて良いかわからない。そのため、市民も広く利用できる観光案内所があれば、情報発信の拠点ともなる。
- ・このほか、柏の資源、産業といっても知られていないので、例えば農業体験を広く実施する等して東京都民などにPRする際のウリにできないか、などの議論がなされた。

◎子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動がある

- ・イベントの内容や、開催地域によっては参加するための交通手段が確保され、お神輿が出るお祭りや、柏産のモノが使用されたイベントなどが開催されている状態が望ましい。
- ・子どもから高齢者までが地域に親しんでもらうため、例えば「上毛かるた」に倣った「柏かるた」があっても面白い、健康づくりポイントがもらえるなど高齢者の参加を促す工夫があってもよい、といったアイデアについても議論された。
- ・地域活動活性化のためには、市が地域活動組織を支援する必要がある。そのためにも、市は、住民同士の話し合いの場、機会を設けたらどうか、といった議論もなされた。

⑥ F グループ

【F-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

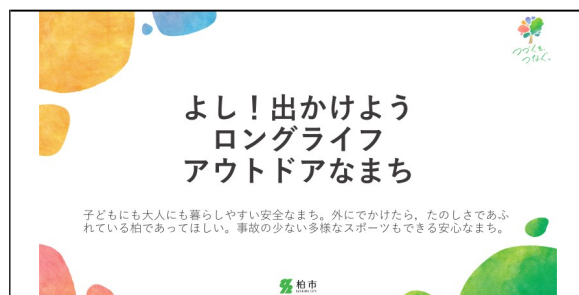
F
グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

広い歩道 自転車道 （国道等に分断されない） （環境配慮した） 参道的なアプローチ 木影の多いまち （植林） 電柱のない	・地産地消を活かした店 （販売・飲食・キッチンカー・ 屋台店） ・フェス会場 ・季節ごとのイベント ・柏駅とそごう跡をどうにか!!	アーバンアウトドアの 聖地 （アウトドア業者のさらなる 進出） （昭島MORI PARK） 常設だけでなく仮設 出店もしやすい
↑	↑	↑
YES 2/6 NO 4/6 優れたまちなみや景観 自然環境に恵まれた まち	YES 1/6 NO 5/6 地域の資源（産業・文 化・芸術・歴史、環 境、自然）を活かした 取組が行われている まち	YES 0/6 NO 6/6 企業や起業家の誘致が 増えている街

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



- ・コミュニティ形成につかえる
- ・健康で長生き
- ・アクセスしやすくしたい
- ・自然を生かす
- ・子供も大人も楽しめる&ペットも

②選んだ理由を書き込みましょう

【F－2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う - 子どもの進学後、おもしろい町をさがす（No） - 家あるから - グリーンベルトまちなみ YES ☒ NO ☐ 5/6	④愛着や誇りを感じる地域だと思う - 知名度が高い - 柏を好きな人が外から入ってくれる - 子供を育てたまちだから愛着がある YES ☒ NO ☐ 3/6	⑤行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ともだちづたいで聞くことがあるが YES ☐ NO ☒ 6/6	⑥政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う - 市議をしらない - 市の広報誌が入るようになった - 家族が市の施設を利用するのでコミュニティが成り立っているかも YES ☒ NO ☐ 4/6
⑦公共から高齢者まで多くの世代が参加できそうな地域活動があると思う 子供と参加、地域のイベント YES ☒ NO ☐ 3/6	⑦住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う 地域活動参加者が少ない YES ☐ NO ☒ 6/6	⑧地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う - 引っ越してきて同郷の人がいた - 外部の人が多いため相互理解 YES ☒ NO ☐ 6/6	⑨子供が元気に遊んでいる地域だと思う - ひしめき合いながら遊んでいる - 公民館で遊べる YES ☒ NO ☐ 5/6
⑩緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う 市のメールがくる YES ☒ NO ☐ 4/6	⑪理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） - 需要が多く満員だけどすぐ入れた - 不満ない - 整っている YES ☒ NO ☐ 6/6	⑫治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う - 青バト - 住宅地はよい - 柏駅はいまいち YES ☒ NO ☐ 6/6	⑬にぎわいや活気があるまちだと思う - TX周辺 - 東シブヤ YES ☒ NO ☐ 6/6
⑭地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組が行われていると思う - 市立柏のプラバン - 日立のサッカー場 - あけぼの山農業公園 YES ☐ NO ☒ 5/6	⑮企業や起業家の誘致が増えていると思う - 柏IC近くは物流関係多し - 駐車場多すぎ YES ☐ NO ☒ 6/6	⑯優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う - 景観雑多 - 道がせまい 個人店が多くなる YES ☐ NO ☒ 4/6	Fグループ

【F－3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードの全てが選ばれ、「よし！出かけよう～」と「多様なコミュニケーション～」が特に多くの参加者から支持された。
- ・前者が支持された理由は、自然の豊かさ、健康づくり、子どもとの交流、手賀沼周辺のアウトドア等が志向されており望ましい、というものであった。また後者が支持された理由は、柏レイソルを活かした多様な交流や、TX沿線地域との交流、3世代交流なども含めることができる、というものであった。
- ・議論の結果、最終的に選定されたビジョンカードは「よし！出かけよう ロングライフ アウトドアなまち」であった。選定された理由は、「アウトドア」から子ども大人も楽しめるまちが想起され、手賀沼等の自然資源を活かしたコミュニティ形成、経済発展にもつなげられる、というものであった。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。定住したい理由としては、実家があり永く住んでいるから、グリーンベルトや街並みなど環境が良い、などがあげられた。愛着や誇りを感じる理由としては、知名度があり周辺の人からの評判も良い、子育てしたまちだから、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、意見が分かれた。友だち経由で柏の変化を知くらいで普段から地域との関りが希薄、行政からの情報は発信されているのだろうが、市民がキャッチできていない。一方、住民の巻き込みについては、広報誌がポスティングされて工夫が見えるようになった、コミュニティ施設が活動の場として機能しているようだ、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思うという意見が多かった。多世代が参加できるよう、市主催の地域活動がある。また、排他的でない地域性である、などがあげられた。なぜ排他性が感じられないのかという点について、そもそも外部からの転入者が多いため、相互理解が進んでいるのだろうと議論された。一方、地域活動参加者がそもそも少ない、自身が参加していないので参加者が多いかどうか分からない、があげられた。

《D：くらしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。公園は少ないながら子供たちが集まって遊んでいる様子をよく見る、公民館が遊び場となっている。子育てについては、保育園需要が多いところすぐに入園できた、施策・制度が整っている、特に不満はない。また、緊急時にはメールで情報入手できる。さらに、治安については、以前より改善された、青色パトロールが巡回してくれている、住宅地周辺の治安は問題ない、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思わないという意見が多かった。唯一、にぎわいや活気については、TX沿線都市として人口も増え活気がある、市街地には“東のシブヤ”以来の活気がある、という肯定的意見があげられた。一方、市立柏のプラバン、日立サッカー場、あけぼの山農業公園等もっと知ってもらいたい地域資源があるのに周知・活用が不十分。企業や起業家の誘致については、IC周辺は物流業が多すぎて産業振興という観点からは疑問、街中に空車場が多いのに土地が有効活用されていない、などがあげられた。また、“ウラカシ”を形成する商

店街の景観が雑多、統一感なく優れてはいない、などがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「優れたまちなみや景観，自然環境に恵まれたまちだと思う」「地域の資源を活かした取り組みが行われているまちだと思う」「企業や起業家の誘致が増えていると思う」の3枚が，次の視点から選ばれた。
- ・ビジョン「よし！出かけよう ロングライフ アウトドアなまち」を実現するためには，地域資源の有効活用する必要がある。前者の2枚，「優れたまちなみや景観，自然環境に恵まれたまちだと思う」「地域の資源を活かした取り組みが行われているまちだと思う」は，ビジョンに直結するにも関わらず「NO」が多く，現状でまだまだ取り組む余地が大きいと思われた。
- ・また，「企業や起業家の誘致が増えていると思う」については，全員がそう思わないとしたことから，これからの柏市の課題と考えられた。

4 アウトプット

◎優れたまちなみや景観，自然環境に恵まれている

- ・駅からつながる広い歩道，国道等に分断されず環境にも配慮された自転車道など，手賀沼に通じる楽しめる道がある状態が望ましい。
- ・また，街中には緑が多く，夏の日差しを遮る木陰も多く，電信柱が地中化されたりしており，景観にも配慮されていると良い。
- ・手賀沼に通じる楽しめる道の沿道に地産地消の産物を扱うお店などがあると，更によいのではないか。

◎地域の資源を活かした取り組みが行われている

- ・販売・飲食，キッチンカーや屋台等，地産地消のお店がたくさんあり，地域資源を活かした季節ごとのイベントが行われているような状態が望ましい。
- ・イベントについては，フェスを開催したらどうだろうか。自然のみならず，音楽やアートなどもあるので，これらも活かせる。
- ・拠点的な空間としては，柏駅と旧そごうがあげられた。どうにかして有効活用できないものかと，実現のための手法まで踏み込んだ議論がなされた。

◎企業や起業家の誘致が増えている

- ・アウトドア事業者や商業施設の参画も得て，昭島市のアウトドアビレッジのような拠点施設やカヌー等の体験施設が整備され，柏市がアーバン・アウトドアの聖地となるのが望ましい。
- ・アウトドアに重点を置いた商業施設については，カヌーやクライミング等のアウトドア体験，飲食，買い物もできるようにすると良い。
- ・ハコものづくりが必要である。仮設店舗が出しやすい空間を設けるなど，アウトドア拠点の具体的なあり方に関する議論もなされた。

⑦Gグループ

【G-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

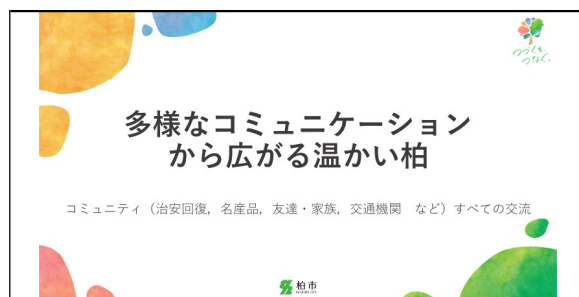


⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

「住民の声」を聞けるような行政の機会が手軽に持てる (今回のワークショップのような市民と行政の意見交換、交流) - 市民の悩み事、相談フォーラムの開催 - 行政間の連携 (警察、消防、市役所、民間)	- 企業誘致で人口増やし、経済力もUP - 手賀沼等の資源を市外、県外へうまくアピール 「そごう跡地」の活用 - 柏の名産がある！！ アピールが必要 ←今あるモノ！！ なければ作る！！	「子供」と「高齢者」にやさしい交通体系の整備（新設）で安全・安心な街歩きのできる” 柏” (LRTほしい！)
YES 0/4 NO 4/4	YES 4/4 NO 0/4	YES 4/4 NO 0/4
行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる状態	にぎわいや活気があるまちの状態	理想の子育てができるような環境がある状態 (子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度等含む)

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



・名産、名物がほしい！
 ・便利な交通を環境にも良く！
 ・子ども・高齢者に安心な街
 ・柏の国際化、グローバル化

②選んだ理由を書き込みましょう

【G-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・ 終の住みかで転出が大変 ・ 治安や近隣住人も良好 ・ 友達がいるから ・ 近所付き合い YES ☒ NO 4/4	④愛着や誇りを感じる地域だと思う ・ 活気がある ・ 愛着はあるが誇りはそんなにない ・ 不思議な人はやはりいる YES ☒ NO 3/4	⑤行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・ 今回のことだって初めて知った YES ☒ NO 4/4	⑤政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・ 働きざかりの人々には見られない ・ しかし広報誌は良くなった ・ 生活レベルでの活用 YES ☒ NO 3/4
⑥子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・ もちつき大会がある ・ 柏祭り、手賀沼花火大会 YES ☒ NO 3/4	⑥住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・ 町会など決まった人達（昔からの人達）が役員になっている YES ☒ NO 4/4	⑥地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・ 外国人、他からの人達の地域 ・ 温かい YES ☒ NO 4/4	⑥子供が元気に遊んでいる地域だと思う ・ 活動できる施設（Sセンター）商業施設も多い ・ 子供が元気に遊んでいる ・ アウトドアでも遊べる場所がある YES ☒ NO 4/4
⑦緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う 防災情報がうまく伝わっていない、伝えられていない YES ☒ NO 4/4	⑦理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） 自然が多く子育てにはよい YES ☒ NO 4/4	⑦治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う まず～治安は良い町だと思われま YES ☒ NO 4/4	⑦にぎわいや活気があるまちだと思う ・ 駅前等を中心に店がたくさんある!! ・ TX地域が活気づき変わったマンションTサイトがあり楽しい!! YES ☒ NO 4/4
⑧地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・ 旧吉田しか聞かない ・ 手賀沼等素晴らしい資源があるのに活かされていない ・ もっとアピールすべき YES ☒ NO 4/4	⑧企業や起業家の誘致が増えていると思う ・ 物流会社は増えている ・ 起業家は聞かない YES ☒ NO 4/4	⑧優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・ 公園のイチョウ、桜の景観、自然が良い ・ 空気がおいしい!! YES ☒ NO 4/4	G _____グループ

【G-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・最初に、「多様なコミュニケーションから広がる温かい街柏」と「よし！出かけよう ロングライフなまち」の2枚が選ばれた。
- ・その他のカードが選ばれなかった理由としては、「財布～」は経済政策に偏り過ぎてしまうため、「童心～」は子どもがいる参加者が少なかったため、「駅から始まる～」はお年寄りにやさしい街づくりという意味では「ロングライフなまち」よりも適していない点があげられた。
- ・最終的には、「多様なコミュニケーションから広がる温かい街柏」が選ばれた。その理由は、経済、観光、お年寄りにやさしい、治安など多くの要素を包括することができると考えられたためである。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。定住したい理由としては、治安や近隣住人との付き合いも良好である、周囲に友人がいる、などがあげられた。愛着や誇りを感じる理由としては、柏レイソルなどの地元のサッカーチームがあるなど、があげられた

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。市民だよりなどで市の情報を公開しているのは知っているが、働き盛りの人々には見られづらく、一部の人がしか見ない、また「課題解決」まで市と住民が協力して行われていないのではないかという意見があげられた。住民を巻き込む工夫については、今回の「柏市市民ワークショップ」の取組を称賛する一方で、今回だけではなく、より多く行政と住民がコミュニケーションをとる機会が増えることを期待して厳しい評価となった。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。多世代が参加できる地域活動については、地域の自治会のつながりや活動が地域によってバラつきがあり、メンバーが住む地域では、自治会による地域活動がない地域が大半とされた。また、地域活動への参加については、代々柏市に住んでいる人が決まって町会等の役員になっており、メンツが変わっておらず、住民間で温度差があることがあげられた。一方、地域外の人を受け入れについては、東京から引っ越してくる人が多い地域であるため、受け入れる体制ができている住民が多いことがあげられた。

《D：くらしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。子供が活動できる施設や商業施設が多く、そういった施設で遊んでいる子供をよく見かける、地域においても子供が遊んでいる光景をよく見かける。自然が多く子育てによい環境であること、周囲の子育て世代の声を聞くと、育てやすい環境であるという意見をよく聞く。治安については、大きな事件などを周囲で聞かない、などがあげられた。一方、緊急時の情報入手については、防災マップや避難場所等の防災情報が伝わっていない、防災放送がハウリングして聞き取りにくい、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、意見が分かれた。駅前等を中心に店がたくさんあり、活気がみられることや、TX 地域が活気づき変わったマンションが建てられ、T サイトなどの楽しい地域がある。公園のイチョウ、桜の景観、といった自然の景観がよく、空気がおいしいとい

った意見があげられた。一方、地域の資源を活かした取組については、柏市の歴史といわれて旧吉田邸しか聞かない、手賀沼等素晴らしい観光資源があるのにそれを活かさきれていないといった意見があげられた。また、企業や起業家の誘致については、柏市から生まれた有名企業といわれて思いつく企業が見当たらない、などがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「多様なコミュニケーション」という視点から、行政と住民、また地域住民同士、子供と高齢者とのコミュニケーションにあたる「行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる」「にぎわいや活気のある街」「理想の子育てができるような環境がある」が選ばれた。
- ・他の候補として、「地域資源を活かした取り組みが行われている」「子供から高齢者まで多くの世代が参加できる地域活動がある」「子供が元気に遊んでいる」などがあげられたが、これらは、「にぎわいや活気のある街」「理想の子育てができる環境」に包括される形で議論が収束した。

4 アウトプット

◎行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる状態

- ・今回の「柏市市民ワークショップ」のような「住民の声」を聞けるような行政の機会が手軽に持てることが望ましい。
- ・市民の悩み事を行政に気軽に相談できる相談フォーラムを開催できるとよい。
- ・行政の中でも警察署、消防、市役所間は縦割りで情報共有が十分にされていないので、行政間の連携を高めるだけでなく、行政と住民との連携・情報共有をさらに進めていくことが望ましい。

◎賑わいや活気がある街の状態

- ・企業を誘致し、人口増加と経済力UPを狙う。
- ・手賀沼などの観光資源を活用し、またその魅力を市外・県外にうまくアピールしていくとよい。
- ・柏市の名産品といえるものを、カブ以外にも創出して、その魅力をアピールしていく。

◎理想の子育てができるような環境がある状態（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度を含む）

- ・「子供」と「高齢者」にやさしい交通体系を整備（新設）して、より安全で安心な街歩きのできる街・柏にしていくことが望ましい。
- ・LRTを新設して、車がなくてもどこでも移動できるような街づくりを目指す。

⑧ I グループ

【I-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

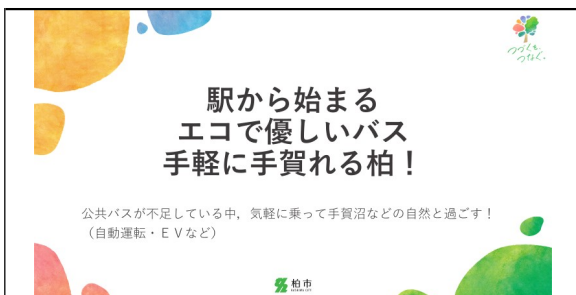
I グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・手賀沼へのアクセスが良い ・手賀沼近辺にランドマークがある ・北柏駅から手賀沼への移動のため、キックボードの貸出がある ・ウォーキングコースにトイレが設置されている ・野鳥の案内板がある ・外来種の動物を捕獲するイベントを開催している ・インスタ映えするスポットがある	・手賀沼近辺のランドマークのスポンサー企業を誘致している ・民間のコミュニティバス会社を誘致している ・柏駅から手賀沼をつなぐスカイウォークを提供する企業を誘致している ・スポーツチームを誘致している	・行政と住民の間で、双方向で情報共有されている ・頻繁に市民アンケートが行われている ・“市長への手紙”など、市民からの情報発信の手段を皆が知っている ・SNSを使った情報共有を“いいね”を使った政策決定が行われている
YES 3/6 NO 3/6 地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取り組みが行われている状態	YES 0/6 NO 6/6 企業や起業家の誘致が増えている状態	YES 4/6 NO 2/6 行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる状態

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



・自然を有効活用させたい ・公共交通機関を充実させたい
--

②選んだ理由を書き込みましょう

【I-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・右項目と同じ ・住むのに問題ない ・駅までの交通の便が今後の不安 YES ☒ NO ☐ 6/6	④愛着や誇りを感じる地域だと思う ・落ちついた街並、子供が多い ・長く住んでいる ・自然が豊か ・生まれ育った土地 ・都心に近い、便利 ・地域のつき合いがある YES ☒ NO ☐ 6/6	⑤行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・市の課題には取り組んでいる ・広報が見やすくなった ・地域の情報までは ・課題解決まではいっていない YES ☒ NO ☐ 4/6	⑥政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・今日の事もよくわからず情報が少ない ・町会活動参加、不参加、差がある ・町会もコロナでストップ ・祭り以外のコミュニケーションが足りない YES ☐ NO ☒ 6/6
⑦子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・藤心近隣センターで夏まつり、子供が参加 ・町会でもイベント自体 ・町会、駅前でのイベントがある ・おみこしを新しくした ・お祭などイベントがある YES ☒ NO ☐ 6/6	⑦住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・周りの人に聞かない No ・不参加者が多い No ・町会でも少ない、身近な人いない ・いっぱいいる ・昔に比べると少なくなっている YES ☐ NO ☒ 5/6	⑧地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・自分が積極的になれていない ・新興住宅地なので必然的にそうになっている ・不足している ・新しい人が多いので受け入れている YES ☒ NO ☐ 4/6	⑨子供が元気に遊んでいる地域だと思う ・遊具の使用禁止が増えた ・外で遊ぶことが減った YES ☒ NO ☐ 4/6
⑩緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・無線、ライン、メール ・ハザードマップ ・防災公園がある ・情報の内容が少ない YES ☒ NO ☐ 5/6	⑪理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） ・地域差 ・育児で退社 ・不登校 ・流山と比べ ・公園がいまいち YES ☐ NO ☒ 6/6	⑫治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ・オレオレ電話が多い ・駅前 声掛けがある ・バイク着 ・交番が近くにない YES ☒ NO ☐ 5/6	⑬にぎわいや活気があるまちだと思う ○柏駅はにぎやか ×近所はさびしい ○学校は近くで子供が多い ×駅前ビルはどうかしてほしい YES ☒ NO ☐ 4/6
⑭地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ×特にスポットはない ×手賀沼も注目度低い ○イベントは多い ×地域の資源がない ○自然を活かしている ×自然環境をもっと活かすべき YES ☐ NO ☒ 3/6	⑮企業や起業家の誘致が増えていると思う ×そういう話を聞かない ×松戸はあるようだ YES ☐ NO ☒ 6/6	⑯優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ×もっとアピールできそうな地域があるはず ○環境はある ○里山活動やると感じる ○自然環境に恵まれている YES ☒ NO ☐ 5/6	I グループ

【I-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードのうち「童心～」を除く4枚が選ばれた。「童心～」が選ばれなかった理由については、対象となる年齢層が限られてしまうなどの意見があった。
- ・選ばれた4枚のカードのうち、最終的には「駅から始まるエコで優しいバス 手軽に手賀れる 柏！」が選ばれた。
- ・その理由としては、渋滞緩和や高齢者の免許返納に対応するため公共交通機関の充実が必要である、また、手賀沼の開発や自然の有効活用により魅力的なまちづくりを行う、などの議論がなされた。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、全員がそう思うと答えた。定住したい理由としては、落ち着いた街並みで、自然が豊かである、生まれ育った街として人にも場所にも愛着がある、都心に近く便利である、などがあげられた。また、愛着や誇りを感じる理由として、長く住んでいる地域である、落ち着いた街並みで自然も豊かである、地域の付き合いがある、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、意見が分かれた。市は地域の課題にしっかりと取り組んでいる、広報誌が見やすくなった、などがあげられた。一方、今回の「柏市市民ワークショップ」が初めての市民参加であり、他にもワークショップを行っていたことを知らなかったのも、政策推進に住民を巻き込む工夫がたりないのではないかと。町会やイベントはあるが町内会活動に参加する人、しない人の差があり、祭り以外の住民同士のコミュニケーションが足りているとは言えない、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思うという意見が多かった。多世代参加の地域活動としては、藤心近隣センターの夏祭りや町会のイベントなどイベントが多く開催されている。また、地域外の人への受け入れについては、新興住宅地のため自然と外から入ってくる人が多い、柏市は外から来る人が多い街なので受け入れてもらえる、などがあげられた。一方、地域活動への参加については、身の回りで地域活動に積極的な人を聞かないし、不参加が多い、参加者が固定されていて新しく引っ越して来た人がコミュニティに溶け込みづらい、などがあげられた。

《D：くらしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。ゲームを入れてよいのなら子供が元気で遊んでいる地域である。緊急時の情報入手については、無線、LINE、メール等を通じて防災情報を十分に伝達してくれている、防災公園がある、などがあげられた。また、周囲の人で犯罪に遭った人がいないので、治安は良いだろう。一方、子育てについては、学校の育児支援に地域差がある、子育てサポートの仕組みをよく知らない、子どもを遊ばせられる公共施設が足りない、育休のまま仕事をやめてしまう人が多い、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、意見が分かれた。柏駅周辺や柏の葉キャンパス周辺に活気がある、小学校前は子どもが多くにぎやかである。また、柏市の自然環境は恵まれている、があげられた。一方、手賀沼の注目度が低いので、もっと自然環境を活かすべきである、などが

あげられた。また、企業や起業家の誘致が増えているといった話を聞かない、柏市に大企業が少ない、などもあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・手賀沼を有効活用する視点から、「地域資源を活かした取り組みが行われている」が選ばれた。
- ・また手賀沼の知名度をより高くしてくれる企業を増やすために「企業や起業家の誘致が増えている」状態になり、さらに、市民の声を気軽に取り入れられるよう、「行政と住民との間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる」状態になることが必要といった議論がなされた。

4 アウトプット

◎地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取り組みが行われている状態

- ・地域の資源である「手賀沼」を有効活用するために、次のような状態とすることが望ましい。
- ・手賀沼へのアクセスがよく、北柏駅から手賀沼への移動のためキックボードの貸し出しもあるとよい。手賀沼近辺に行楽の目的地となるランドマークもあると望ましい。
- ・ウォーキングコースにトイレが設置されている、野鳥の案内板がある、外来種の動物を捕獲するイベントを開催している、インスタ映えするスポットがある、といったアイデアについても議論された。

◎企業や起業家の誘致が増えている状態

- ・企業の協力を得て、手賀沼をより良くしていくため、手賀沼スカイウォークとゴンドラ等のアクセスを整備してくれる企業を誘致する。
- ・手賀沼へのアクセス向上のため、民間のコミュニティバス会社を誘致する。
- ・ランドマークを手賀沼に作るために、ランドマークのスポンサー企業を集める、などのアイデアが出された。

◎行政と住民の間に情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる状態

- ・現在、行政から情報を受け取れるが、住民から情報を発信することはできず、一方通行になっているので、双方向で情報共有がされていることが望ましい。
- ・頻繁に市民アンケートが行われていたり、「市長への手紙」など市民からの情報発信の手段をみんなが知っているようにする。
- ・SNSを活用して、「いいね」の数が多い意見から積極的に取り入れてもらえるシステムづくりを行うといったアイデアについても話し合われた。

⑨ J グループ

【J-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

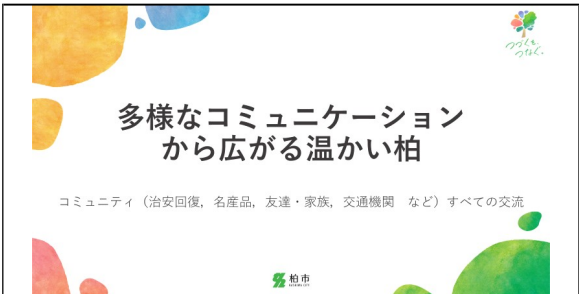
J
グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・既存のイベントにいろんな人が参加しやすい状態 ・積極的に参加できるような知らせ ・（家族・单身・どの世代でも）外国の方でも参加できるような状態	・防災無線でイベントのお知らせも行う ・イベントの企画に若い人も参加する	・市内観光バスを走らせて、各名所めぐっていくツアー ・地域のことを知る ・ローカルな所も含めて御朱印めぐり ・スタンプラリー
↑	↑	↑
YES 0/5 ☐ NO 5/5 地域外の人を受け入れようとする雰囲気がある状態	YES 0/5 ☐ NO 5/5 政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫がみられる状態	YES 0/5 ☐ NO 5/5 地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取り組みが行われている状態

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照

	→ 全てのテーマの基は「コミュニケーション」であり、そこからすべて発生していく
---	---

①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう

②選んだ理由を書き込みましょう

【J-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ・住めば都 ・交通の利便性 ・自然と都内へのアクセスのバランス最高 YES ☒ NO 5/5	④愛着や誇りを感じる地域だと思う ・柏大好き ・レイソルの団結力 ・スポーツ全般 ・自然豊か YES ☒ NO 5/5	⑤行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ・市がやっていることを知らない ・情報がいきわたっていない ・地域差があるかも ・長く住んでいる人と最近住みはじめた人の差 YES ☐ NO ☒ 5/5	⑥政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ・このワークショップ参加者100名 / 市民40万人 ・今の市長になって広報よかったが、住民を巻き込んでいるか？ ・単身者の連絡不足 YES ☐ NO ☒ 5/5
⑦子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・活動はあるが、地域差がある ・子どもや親世代が参加できるものは多いが、単身者が参加できるものは少ない ・柏祭り等はどの世代も参加しやすい YES ☐ NO ☒ 4/5	⑦住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ・地域差はあるが盛り上げるためのイベント等開催していると感じる YES ☒ NO ☐ 3/5	⑧地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ・地域差はあるが受け入れようとする雰囲気が感じられない ・かといって排除するわけではない YES ☐ NO ☒ 5/5	⑨子供が元気に遊んでいる地域だと思う ・公園で遊ぶ姿がみられる ・小学校が多いと思う ・手賀沼は遠い / バス便も少ない YES ☒ NO ☐ 5/5
⑩緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う ・防災と安全はあるような気がすると思う ・ハザードマップの表示はあるように思う ・火災情報もあるので火災現場はお知らせあり ・SNSを利用する YES ☒ NO ☐ 3/5	⑪理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） ・必要がないのでわからない YES ☐ NO ☒ 4/5	⑫治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ・西原地域はよくなった ・大津ヶ丘団地方面は安心できないと思う ・柏駅周辺は治安が悪いと思う YES ☐ NO ☒ 3/5	⑬にぎわいや活気があるまちだと思う ・レイソルの存在 ・柏まつりなど YES ☒ NO ☐ 5/5
⑭地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・我孫子市の話題は出るが柏市では話題が出ない YES ☐ NO ☒ 5/5	⑮企業や起業家の誘致が増えていると思う ・柏の葉のベンチャー会社はあるようだが身のまわりには感じられない YES ☐ NO ☒ 5/5	⑯優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・駅前そごうが空のまま、シンボルとなるべき場所が活かされていない ・道の駅は良い YES ☐ NO ☒ 4/5	J グループ

【J-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードの全てが選ばれ、特に「多様なコミュニケーション～」が最も多くの参加者から支持された。
- ・その理由は、すべてのビジョンカードはつながっており、「多様なコミュニケーション～」は他の4枚のビジョンカードの内容を包括的に表現するもので、「コミュニケーション」こそ、他の4つのビジョン実現の基本となると考えられたためである。
- ・話し合いの中で、「童心～」をあげて、子どもが戻って来たいと思えるまちにしたいという想いが語られて共感を得た。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、全員がそう思うと回答した。定住したい理由としては、生まれてからずっと住んでいる、都市と自然のバランスがとれている、電車で混雑しない場所を通して観光地（鎌倉、成田など）へ行ける、などがあげられた。また、愛着や誇りを感じる理由としては、柏レイソルの団結力がある、サッカーやバスケットボール、ラグビーなどスポーツが盛ん、などがあげられた。背景には、地域に長く住む人も、数年前に引っ越して来た人も、柏への愛を感じている、といった議論がなされた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、全員がそう思わないと回答した。うまく情報が伝わっていない、居住する地域ごとに取組の格差がある、新旧住民によって温度差がある、などがあげられた。また、住民を巻き込む工夫については、そもそも市がやっていることを知らないことがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。多世代が参加できる地域活動については、地域差がある、単身者が参加できるものは少ない、などがあげられた。また、地域外の人への受け入れについては、昔から住んでいる人のコミュニティに新しい住民がどう入って行けるかがわからない、排他的ではないが無関心なところが都市的、などがあげられた。一方、地域活動への参加については、居住する地域での取組があるか否か、それを知っているか否かによって、認識が異なった。

《D：くらしやすさ》については、意見が分かれた。公園が多く子どもたちが遊んでいる様子を目にすることがあげられた。また、緊急時の情報入手については、地震速報、防災マップ、地域の掲示板、SMSなど色々な手段がある、などがあげられた。一方、子育てについては、理想的な環境があっても知らないことがあげられた。治安については、団地など地域によっては夜道が暗くて男性でも不安、夜間のサイレンが多い、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思わないという意見が多かった。唯一、柏レイソルや柏まつりの存在により、にぎわいや活気があるとされた。一方、我孫子市の方が地域の資源を活かした取組について話題となっている、旧吉田家住宅すら知らなかった、などがあげられた。また、企業や起業家の誘致については、柏の葉地域では起業も盛んなようだが身の回りには感じられない、わからない、などがあげられた。さらに、駅前のそごうが空き店舗のままでシンボルとなるべき場所が生かされていない、などがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」「行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」「地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う」「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」の5枚が選ばれた。
- ・このうち、「子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」「行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」には類似性があるとして、《B：行政との共創のしやすさ》を重視し、後者に一本化した。
- ・また、「地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う」「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」には類似性があるとして、《C：地域とのつながりやすさ》を重視し、後者に一本化した。
- ・この結果、地域とのつながりやすさ、行政との共創、地域資源の豊かさを重視し、「地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う」「行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」の3枚が選定された。

4 アウトプット

◎地域外の人を受け入れようとする雰囲気がある状態

- ・柏まつりや地域ごとのイベントを含め、既存のイベントに参加する人が限られているので、家族や単身者、外国の方、どの世代の方でも、いろんな人が参加しやすい状態が望ましい。
- ・市内の施設が古いので、集まれる場所が限られるため、既存のイベントを通じて人を呼ぶ。
- ・いろんな人が参加できるよう、チラシに「誰でも参加可」「一人でも OK」など、積極的に誘いかけることが重要、といった議論がなされた。

◎政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫がみられる状態

- ・防災無線など普段から自然と耳にするものを活用して、イベントのお知らせを伝えることが必要ではないか。
- ・このワークショップの実行委員として大学生たちが関わっているように、地域での色々なイベントの企画段階から若い人が参加することが重要である。若い人で柏 LOVE な人は多いので、若い力を活かさないか。

◎地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取り組みが行われている状態

- ・市内でも知らないことが多いので、市内観光バスで市内の名所をめぐるツアーを行って、市民自身が地域のことをよく知る必要がある。
- ・柏市には神社仏閣も多いので、例えば古河市の七福神めぐりのように、ローカルな場所も含めて、御朱印めぐり、スタンプラリーなどを実施してはどうか、といったアイディアについても議論された。

⑩ Kグループ

【K-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

Kグループ

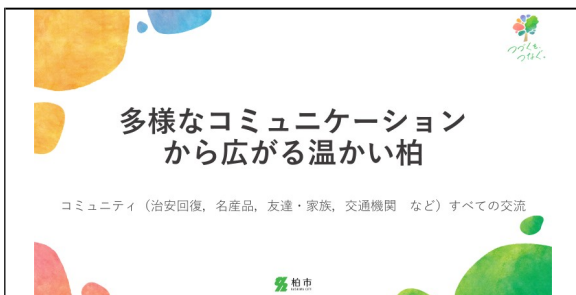
⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・行政との接点が生まれる機会が必要 例）出生届、転入届の際市のアプリケーションを提供、マイナンバーカードを利用、QRコードでの情報提供、市政だよりにQRコードを掲載、暮らしの手帳のデジタル化（柏市のHP） ・進捗確認、アフターフィードバックする仕組み ・プロセスの透明感があると信頼感が上がる	・10～20年後の保育園をどうする ・利便性のある保育園 ・保育士の充実 ・こども園、預かり保育（私立） ・柏市は公立の幼稚園はなし ・現在建設中の保育園は私立 ・病院の補助、医療費負担 ・育児の優先順位→意見を吸い上げる仕組みを作ってもらいたい ・小学校低学年の位置づけが難しい→狭いスペースでの学童保育 ・SOGOの跡地を子供が遊べる（学べる）スペース→共働きのスペース	・シャトルバスの活用 ・アクティビティ
--	--	--

YES 0/6 ☒ NO 6/6	YES 0/6 ☒ NO 6/6	YES 0/6 ☒ NO 6/6
行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んだ状態 ・魅力がない ・これまでこうした取り組みがない ・柏市の価値観が見えない ・このような取り組みがどのように反映されるか不明	理想の子育てができるような環境がある状態 ・保育園が少ない ・小中学校の距離が遠い ・小中学校が少ない ・学校の配置に偏りがある ・保育園に在園年齢制限がある ・その場しのぎ感がある	地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取り組みが行われている状態 ・発信力が少ない ・昔から住んでいる人は、こどもが市内巡りで地域の資源を知る機会があるが、成人の人は知る機会がない

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



・年代を超えた人、企業、学校（病院）が交流して、多様な意見を反映できるコミュニティをつくるため

②選んだ理由を書き込みましょう

【K-2】ワークシート再現版

まちのウェルビーイング		行政との共創のしやすさ	
④ 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う Yes ⑥ ・バスなどでアクセスしやすいようにしてもらいたい ・バスを意識したことがなかった ・車がないと不便 YES ☒ NO ☐ 6/6 地域とのつながりやすさ	④ 愛着や誇りを感じる地域だと思う Yes ⑥ ・濃淡がある ・くらしやすい ・受け入れてくれる ・排他的でない ・祖父の時代から柏 ・駅が栄えている ・柏からどこにでも行ける ・柏にいれば何でもできる ・転入者も多い ・祭りもある YES ☒ NO ☐ 6/6	⑥ 行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う Yes ① ・今回の機会無ければ魅力を感じない No ⑤ ・これまでこうした取組？ ・住民の意見を吸い上げる仕組みがない ・柏市の価値観が見えない ・この取組がどのように反映されるのか不明 ・柏市も悩んでこうした取組 ・市議会で居眠り ・情報発信が不十分 YES ☐ NO ☒ 5/6	⑥ 政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う No ⑥ ・情報発信がなく情報の吸い上げ、意見の反映されているか不明 YES ☐ NO ☒ 6/6 くらしやすさ
⑤ 子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う Yes ① ・祭りやイベントが多い、資金が多い No ⑤ ・若世代のつながりはあるが多世代のつながりがない ・町会の祭りは規模が小さく参加者も少ない YES ☐ NO ☒ 5/6 くらしやすさ	⑤ 住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う No ⑥ ・内輪で回っている ・「柏まつり」「花火大会」で十分 ・小規模な祭りで十分 YES ☐ NO ☒ 6/6	⑤ 地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う No ① ・地域によって ・開発された地域は受入OK ・地主が多い地域は受入不可 Yes ⑤ ・自治会がない ・新興住宅は ・町内会はトップダウンもOK YES ☐ NO ☒ 5/6	⑤ 子供が元気に遊んでいる地域だと思う Yes ⑥ ・公園が多くある ・市内にはない YES ☐ NO ☒ 6/6 地域資源のしやすさ
⑥ 緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う Yes ① ・柏市のLINEに登録しておくで情報発信 ・ネットで情報収集（市ではない） No ⑤ YES ☐ NO ☒ 5/6	⑥ 理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） No ⑥ ・保育園が少ない ・小中学校の距離が遠い ・小中学校が少くない ・学校の配置に偏りがある ・保育園の制限がある ・その場しのぎ感がある YES ☐ NO ☒ 6/6	⑥ 治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う Yes ⑥ ・市の防犯情報ある ・離れた地域では治安が悪い ・柏市全体では微妙 YES ☐ NO ☒ 6/6	⑥ にぎわいや活気があるまちだと思う Yes ⑥ ・東口 衰退 ・丸井 地主の影響 YES ☐ NO ☒ 6/6
⑥ 地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組が行われていると思う No ⑥ ・発信力が少ない ・市内めぐり ・昔から住んでいると、こどもの頃に市内めぐりをして理解しやすいが、成人には機会がない YES ☐ NO ☒ 6/6	⑥ 企業や起業家の誘致が増えていると思う No ⑥ ・物流 ・地域差がある ・学術に力を入れている YES ☐ NO ☒ /	⑥ 優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う Yes ③ ・西地区に重点 ・区画管理ができていない ・市全体では ・自然には恵まれているが生かされていない YES ☐ NO ☒ 3/6	K グループ

【K-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードのうち、「童心〜」「駅から始まる〜」「多様なコミュニケーション〜」の3枚が選ばれた。「童心〜」については子どもがいて身近だから、「駅から始まる〜」については住んでいる地域の交通便が悪い、などの理由があげられた。
- ・選ばれた3枚のビジョンカードのうち、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。
- ・その理由は、年代を超えた人、企業、学校、病院が交流して、多様な意見を反映できるコミュニティをつくる、というものであった。選定したカードが一番抽象的で議論を深めやすく、また、選定の背景として、柏のコンセプトが響かない、ベッタタウンだけでなく街全体の魅力を引き上げることが必要、年代を超えて世代が絡み合うようにしたいという意見が共有された。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、全員がそう思うと回答した。定住したい理由としては、車がないと不便なこと以外は暮らしやすく、これからも住み続けたい、があげられた。また、愛着や誇りを感じる理由としては、地域によって濃淡はあるものの、外から来た人も受け入れてくれて排他的ではない、祖父の時代から柏に住んでいる、柏からどこにでも行けるし柏にいれば何でもできる、ほどよく都会でほどよく田舎、祭りもある、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。住民の意見を吸い上げる仕組みがない、柏市の情報が伝わってこない、柏市の価値観が見えない、そもそも今回のような市民参加の機会がなかった、この取組がどのように反映されるのかわからない、などがあげられた。また、住民を巻き込む工夫については、情報発信がなく意見が反映されているのか不明などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。若い世代のつながりはあっても多世代のつながりがない、町会の祭りは規模が小さく参加者も少ない、などがあげられた。また、地域活動への参加については、親しい人だけで活動している、柏まつりや花火大会、小規模なまつりだけで十分、などがあげられた。一方、地域外の人への受け入れについては、開発された地域は受入 OK の雰囲気がある、新興住宅は町内会や自治会がなかったり、あってもトップダウンで全て仕切ってくれるのはありがたい、などがあげられた。併せて、祭りや自治会の有無は必ずしも愛着に直結しない、といった議論がなされた。

《D：くらしやすさ》については、意見が分かれた。都内にはないような公園が多くあって子供が元気に遊んでいる。また、柏市の防犯情報があって治安が良いことがあげられた。一方、緊急時の情報入手については、そもそも柏市の防災情報の入手方法を知らない、などがあげられた。また、子育てについては、保育園が少ない、小中学校が少ない、小中学校の配置に偏りがあって遠い、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、意見が分かれた。柏駅のにぎわいや活気があげられたものの、丸井をはじめ柏駅東口の衰退といった議論もなされた。また、市の西の地域は自然環境に恵まれていることがあげられた。一方、地域の資源を活かした取組については、昔から住んでい

ないと理解しにくい、発信力が少ない、などがあげられた。また、企業や起業家の誘致については、TX 沿線では企業誘致があるが地域全体では増えていないことがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「行政と住民の間に情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」「理想の子育てができるような環境があると思う」「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」の3枚が選ばれた。
- ・いずれのカードも議論が盛り上がって話が発展しそうである、全員がそう思わないとしたカードを選んだ理由は、NO が YES になれば、目指すビジョンを実現できるといった議論がなされた。

4 アウトプット

◎行政と住民の間に情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んだ状態

- ・まず行政との接点を持つ機会が必要であり、例えば、出生届や転入届の際に市のアプリケーションを案内する、市政だよりに QR コードをつけて気軽にアクセスできるようにする、AI のトラッキングシステムを使って興味に合った情報を提供する、といった議論がなされた。
- ・市に関する情報について進捗確認やフィードバックの仕組みが必要で、今回のワークショップについても結果だけでなく、プロセスも掲載することで、参加者からみて透明化され、市政に対する信頼度が上がる。

◎理想の子育てができるような環境がある状態

- ・10～20 年後の保育園をどうするかといった議論がなされ、市内の保育園や幼稚園の現状、子ども医療費などが話題となったほか、流山のように駅に園児を集合させて保育園に連れて行くシステムなどを例に、良いところは真似する方がよい、などの意見があった。
- ・子どもの年齢によって課題が変わるし、市に要求を伝える前に、あれもこれもは難しいので、育児で何を優先するかまとめるべきで、そもそも、こうした育児に関する意見を吸い上げる仕組みが求められた。また、SOGO 跡地を子どもが遊んだり、学んだりできるスペースとして活用するなどのアイディアが出された。

◎地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われている状態

- ・市内に住んでいる人には市政だよりがあるが、市外の人向けの発信が少ないので、シャトルバスを活用したり、アクティビティを行ったりして、柏市に何があるか発信していくことが重要。
- ・市外の人にお金を使ってもらい、市内でお金が動くようにしていくことが望ましい。

⑪Mグループ

【M-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ

ワークシート

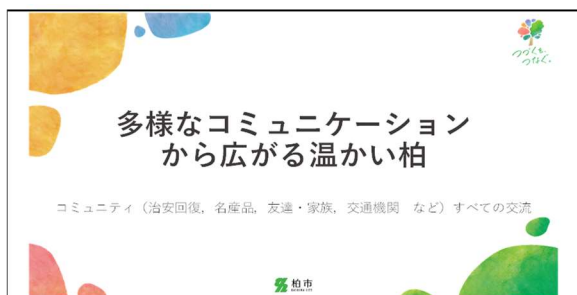
M グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

・地域の見守りの目を増やし、巡回強化	今回の会（ワークショップ）の継続をしし住民に発信していく	駅前等（図書館・市役所・地域には集会所）を作る 地域の連帯感を生む
YES 2/4 NO 2/4	YES 4/4 NO 0/4	YES 3/4 NO 1/4
治安が良く、安心して暮らせるまち	行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる	子どもから高齢者まで、多くの世代が参加できるような地域活動がある

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



- ・各カードの内容が含まれている
- ・交通機関の充実を考えている（乗り合いバス、不便な場所へのアクセス）
- ・（免許がない人、返した人への対応）
- ・高齢者とのコミュニケーションをとりやすくしたい
- ・高齢者と子どもたちとのコミュニケーション
- ・町内会の活動を知ろう

②選んだ理由を書き込みましょう

【M-2】ワークシート再現版

④ ④ 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う N○ 交通の便が不便なところ N○ 治安に不安を感じる 今後は考える Y 都市型 アウトドア } 共存 住みやすい Y 便利 YES ・ ☒ NO 2/4	④ ④ 愛着や誇りを感じる地域だと思う Y 愛着ある、誇りを感じる Y 高校生活が楽しかった Y 愛着ある、経済活動活発 Y 愛着がある、スポーツが強い 麗澤、市立柏 Y 愛着 レイソル YES ・ NO 4/4	④ ④ 行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う Y こちらに参加している Y けいぞくしてほしい Y 情報共有していると思う Y けいぞくしてほしい 希望している YES ・ NO 4/4	④ ④ 政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う N○ 巻き込まれていない Y 今日この場に来ていることが理由 Y こんなことしてるのに魅力を感じる Y これからも関わりたい YES ・ NO 3/4
④ ④ 若から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う Y ポスターなど掲示板活動していると思う Y コミセンター公民館などで行っている Y あることは知っている N○ 地域の活動を感じていない YES ・ NO 3/4	④ ④ 住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う N○ 知らない N○ 活動があるのは知っているが人としてはわからない N○ 昔はあったが今は少ない N○ 自分が見えていない YES ・ ☒ NO 4/4	④ ④ 地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う Y 拒絶する雰囲気はない Y 引き入れたい、受け入れない方なので Y 拒絶する感じではない N○ 古くから住んでいる人が YES ・ NO 3/4	④ ④ 子供が元気に遊んでいる地域だと思う Y 遊べる場所がある Y 子供の声が聞こえる公園も多い Y 外で子供が遊んでいる Y 登校する姿もよく見かける YES ・ NO 4/4
④ ④ 緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う N○ 昔より減った、MAPの看板も減ったような… N○ ぱっと出てこない N○ 必要性に迫られていないので自分からアクセスしない (自分から動かないといけない) Y AEDのアプリがある YES ・ ☒ NO 3/4	④ ④ 理想の子育てができるような環境があると思う (子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む) Y 子育てしていて不便がない Y 親族で子育てしている人が十分できている Y 恐らく Y 不便ではなさそう YES ・ NO 4/4	④ ④ 治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う Y 現在安心して暮らせている Y パトロールをよくしている N○ 自転車のルールを守ってない人がいる、交通ルールが守られていない N○ 駅前だけ治安が悪い YES ・ ☒ NO 2/4	④ ④ にぎわいや活気があるまちだと思う Y スポーツが盛んになっていると思う N○ 駅の周りが少し活気がなくなっている感じがする Y 駅前がさみしくなっている感じがする ショッピング施設の分散されている N○ 活気が少なくなった YES ・ ☒ NO 2/4
④ ④ 地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う Y 手賀沼や公園の整備ができている N○ アピールが見えない 耳に入っていない N○ 我孫子の文化遺産のアピールがある、柏には少ない N○ 文化、芸術がほしい YES ・ ☒ NO 3/4	④ ④ 企業や起業家の誘致が増えていると思う N○ 思わない、他地域の方が活気有 N○ 増えていないと思う N○ オフィスビルがない 活動が見えない N○ 若者に人気がない YES ・ ☒ NO 4/4	④ ④ 優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う Y まちなみ、自然に恵まれている Y 恵まれた環境にあると思う Y 都市部とのバランスがよい Y バランスが良いと思う YES ・ NO 4/4	M グループ

【M-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードのうち、「多様なコミュニケーション～」 「よし！出かけよう～」 「童心になれる～」 「駅から始まる～」 の4枚が選ばれ、意見が分かれた。
- ・このため、カードの選定理由について参加者がそれぞれ理由を述べ合ったのち、各カードの内容を包括的に表せるものはどれかといった議論がなされた。
- ・その結果、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。理由は、各カードの内容が含まれている、交通機関の充実や高齢者と子どもたちとのコミュニケーション、地域活動の充実等も表現できる、というものであった。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、意見が分かれた。定住したくない理由としては、地域内の交通が不便、治安に不安を感じている、があげられた。一方、愛着や誇りを感じる理由としては、高校生活が楽しかった、経済活動が活発、スポーツが強い、柏レイソルの存在、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思うという意見が多かった。この市民ワークショップは評価できる、このワークショップのような取組を継続的に実施してほしい、情報共有していると思う、などがあげられた。また、住民を巻き込む工夫については、この市民ワークショップには魅力があり工夫を感じる、これからも関わりたい、があげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思うという意見が多かった。多世代が参加できる地域活動については、ポスターなど掲示板を見ると活動しているとわかる、コミュニティセンターや公民館等で盛んに行われている、などがあげられた。また、地域外の人への受け入れについては、拒絶する雰囲気はない、自身が人を引き入れたい方なので、などがあげられた。一方、地域活動への参加については、自身が参加していないのでわからない、活動があるのは知っているが人としてはわからない、などがあげられた。

《D：くらしやすさ》については、意見が分かれた。遊べる場所がある、子どもの声が聞こえる、公園も多く外で子どもが遊んでいる、などがあげられた。また、子育てについては、実際に子育てしているが不便がない、親族で子育てしている人が十分できる環境にある、恐らく不便ではなさそう、があげられた。一方、緊急時の情報入手については、MAPも看板も減った、必要に迫られていないので自分からアクセスしない、自分から動かないといけない、などがあげられた。また、治安については、自転車の交通ルールとマナーが守られていない、駅前治安が悪い、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思わないという意見が多かった。まちのにぎわいや活気については、駅周辺の活気が少なくなったことがあげられた。また、地域の資源を活かした取組については、PRしているように見えない、我孫子市は文化遺産をPRしているが柏市には少ない、文化・芸術資源に乏しい、などがあげられた。さらに、企業や起業家の誘致については、他の地域の方が産業の活気を感じる、増えてはいないと思う、誘致活動が見えない、などがあげられた。一方、街並みや自然に恵まれている、恵まれた環境にある、都市と自然とのバランスが

良い、など肯定的な意見もあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」「行政と住民の間に情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」「子どもから高齢者まで、多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」の3枚が、次の視点から選ばれた。
- ・ビジョンカード「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」を実現するため、高齢者と子どもたちとのコミュニケーション、地域活動の充実等に関係が深いものを選定した。
- ・この過程で、ビジョンカード「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」に込めたい内容とは関係が希薄な内容にはふれず、取組の過程も重視して「行政と住民の間に情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」も選定された。

4 アウトプット

◎治安が良く、安心して暮らせる

- ・個々のダイアログカード検討の段階では、安心して暮らせている、パトロールをよくしており安心、しかし自転車の交通ルールとマナーが守られていない、駅前治安が悪い、といった具合に意見が分かれていた。
- ・このため、ビジョン「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」に向け、良いところは伸ばし悪い点は克服するものとし、地域の見守りの目を増やし、巡回が強化された状態が望ましいとした。
- ・また、議論の過程では、再度、自転車のマナーの悪さや、道路整備の必要性等が言及された。

◎行政と住民の間に情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる

- ・今回の市民ワークショップのような取組を継続し、市民に発信していくことにより、情報を共有しながら力を合わせ取り組んでいける状態が望ましい。
- ・個々のダイアログカード検討の段階では、多くの参加者がこの市民ワークショップを評価しており、継続的に実施してほしい、といった意見が出されていた。
- ・課題の克服というより、良い取組を継続し広げるべきという視点から、ここでは議論した。

◎子どもから高齢者まで、多くの世代が参加できるような地域活動がある

- ・多くの市民が参加できるよう、駅前等には市役所、図書館・公民館といった拠点的な施設があり、地域には集会所が整備されている状態が望ましい。
- ・子どもから高齢者まで、多くの世代が参加できるような地域活動があれば、それが地域の連帯感を育むことにつながる。
- ・個々のダイアログカード検討の段階では、活動が感じられない、わからないといった意見も出されていたため、今後は活動の周知と情報発信も重要だと考えられる。

⑫Nグループ

【N－１】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

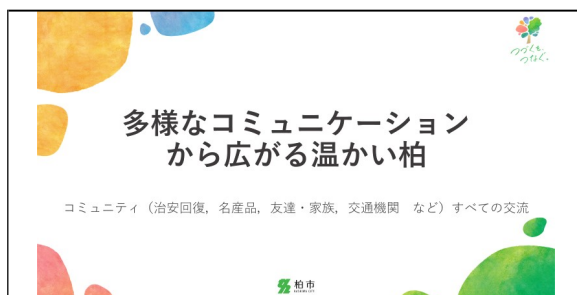


⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（＝ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

子どもが戻りたい、貢献したいまち	- 情報の可視化 - PDCAの仕組みづくり （住民の声を吸収する仕組みがあり、行政の対応がわかる）	- 人という資源を活かしたまち（市） - 個人の特技・強みが活かせるまち
YES 1/5 NO 4/5	YES 2/5 NO 3/5	YES 0/5 NO 5/5
愛着や誇りを感じる状態	行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組む状態	地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取り組みが行われている状態

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



統括的な概念である

②選んだ理由を書き込みましょう

【N-2】ワークシート再現版

④住んでいる地域にこれからも 住み続けたいと思う ・5人全員 YES • NO 5 / 5	⑤愛着や誇りを感じる地域だと思う Yes ・ちょっとよいローカル感 ・落ちついた感じ ・子育て No ・寝るだけ ・地域とつながりがない YES • NO 4 / 5	⑥行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う Yes 広報、再開発、子育て支援 No 情報がおりてこない →地域の課題 YES • NO 3 / 5	⑦政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う 全員YES ↓ 今回のワークショップ YES • NO 5 / 5
⑧子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ・参加するorNoは別として 野球大会あり 柏市主催or地域 →多々あり 特大	⑨住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う 分母が不明 イベントが多いが YES • NO 5 / 5	⑩地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う 排他的ではない 人口increaseがReason 香取神社の”西の市” etc 人が参加しやすい YES • NO 5 / 5	⑪子供が元気に遊んでいる地域だと思う 公園が多い 但しエリアによって YES • NO 5 / 5
⑫緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う 3. 1 1 地域に比べると情報発信不足 YES • NO 5 / 5	⑬理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） サポートを利用するためのアクセス（事前面談とか）が複雑でも、事前にやっておけば便利 YES • NO 3 / 5	⑭治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う 事件などの件数や内容をまとめた情報を一覧で見たい 夜、人がいなくても一人で歩ける YES • NO 5 / 5	⑮にぎわいや活気があるまちだと思う ・道の駅 ・柏の葉公園などにぎわっている YES • NO 5 / 5
⑯地域の資源（産業・文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・道の駅 ハードはいいが ・ソフト面での広報が足りない YES • NO 5 / 5	⑰企業や起業家の誘致が増えていると思う ・企業 ・補助金もあり ・三昧一体で推進している YES • NO 5 / 5	⑱優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・手賀沼 ・利根川も近く YES • NO 5 / 5	Nグループ

【N-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードのうち、特に「多様なコミュニケーション～」と「童心になれる～」の2枚が多く参加者から支持された。
- ・前者は、様々なコミュニティにふれあう機会があれば高齢期の社会参画や助け合いにも役立つ、などの理由から選ばれた。また後者は、趣味を活かすなど色々な人の参画が促せる、などの理由から支持されていた。
- ・議論の結果、最終的に選定されたビジョンカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」であった。理由は、各カードの内容が含まれ包括的・総括的な上位概念であること、手段ではなく継続的な概念となること、多様な人が暮らす柏では、だれにとっても優しいまちであることが重要、というものであった。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、意見が分かれた。定住したい理由としては、都心へのアクセスの良さ、商業施設の集積やご近所で声を掛けあう雰囲気、などがあげられた。一方、愛着や誇りを感じない理由としては、寝に帰るだけで地域とのつながりが希薄、誇りの醸成につながるようなブランディングができていないのでは、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、意見が分かれた。子育て等のターゲットには情報が届いているのかも知れないが、地域課題といったときには情報が鮮明でなくよくわからない。一方、この市民ワークショップを開催したことに工夫を感じる、などがあげられた。

《C：地域とのつながりやすさ》については、全員がそう思うと回答し、参加しやすい環境があると高く評価された。参加する・しないはあるが市や地域主催の活動は充実していると感じており、例えばスポーツの大会等いろいろある、などがあげられた。また、何をもって、地域活動へ参加する人が多いとするか不明ながら、イベントが数多くあるから人も多いのだろう、などがあげられた。さらに、地域外の人への受け入れについても、排他的ではないと感じる、転入超過である、香取神社の酉の市が良い、最近転入してきたが地域に参加しやすい、などがあげられた。

《D：くらしやすさ》については、意見が分かれた。地域による公園が多い、都内に比べると子どもが遊べるなどがあげられ、総じて子育て世代の参加者からは高く評価された。また、治安については、主観的には夜道を一人で歩けるから安全だと思えることがあげられた。一方、緊急時の情報入手については、3.11を経験した地域と比較すると情報発信が不足している、自治会等のコミュニティに参加していれば得られるが発災時に情報が受け取れるのか不安、市からの情報発信、入手についてはよくわからない。また、子育てについては、スピード感が大切なのに手続きが大変、サポートはあるが理想的かと言われると考えると考えてしまう、などがあげられた。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思うという意見が多かった。柏駅前のにぎわいや道の駅のにぎわい、柏の葉公園の人出がある、などがあげられた。また、企業や起業家の誘致については、制度が充実している、産学官連携も進んでおり活発に取組がなされている。参加者に制度の利用者がおり、その方から情報がもたらされ議論が進んだ。さらに、恵まれた自然環境がある、手賀沼の存在、利根川にも近い、などがあげられた。一方、地域の資源を活かした取組につ

いては、資源はありハードも充実しているがソフト面が不足で広報も足りないことがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「愛着や誇りを感じると思う」「行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいると思う」「地域の資源を活かした取り組みが行われていると思う」の3枚が、次の視点から選ばれた。
- ・ビジョン「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」を実現するためには、長所を伸ばし課題を解決することが重要である。まちの未来を担う子供たちのために、という視点も重視され、その後子供も含めあらゆる人を大切にという議論に発展した。
- ・課題を解決するという趣旨から、特にそう思わないが多かったダイアログカードを中心に選定した。愛着や誇りを感じるまちにならないと、ビジョンカードでいう「多様なコミュニケーション」も生まれないのではないかと議論がなされた。

4 アウトプット

◎愛着や誇りを感じる

- ・ダイアログカードの検討段階では、寝に帰るだけで地域とのつながりが希薄、誇りの醸成につながるようなブランディングができていないのでは、といった意見が出された。
- ・将来の柏市ではこれらが解消され、子どもたちが戻ってきたい、戻ってこられるまちであり、大人たちが地域に貢献したい、貢献できると思えるまちとなっていることが望ましい。
- ・子どもたちが戻り、市民が地域貢献すれば、人や活動がつながっていく、つながっていくことが、更なるPRにもなるといったことが議論された。

◎行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる

- ・ダイアログカードの検討段階では、子育て等のターゲットには情報が届いているのかも知れないが、地域課題といったときには情報が鮮明でなくよくわからない、といった意見が出された。
- ・将来は、市民がどう考えているか、市がどう考えているかが互いに可視化され、PDCAサイクルがしっかり回っているまちとなっていることが望ましい。
- ・なお、議会からの発信等、発信してもみんな中々見てくれない状態をどう改善していくかは、今後も工夫していく必要があろうと議論された。

◎地域の資源を活かした取り組みが行われている

- ・ダイアログカードの検討段階では、資源はありハードも充実しているがソフト面が不足で広報も足りない、といった意見が出された。
- ・柏の資源とは何かと考えると、社会的弱者も含めた様々な「人」である。将来は、人という資源が十分に活かされ、個人の特技・強みが活かせるまちとなっていることが望ましい。
- ・リモートワークがこのまま定着すると、都心の自治体よりベッドタウンに人や仕事が集まり有利となる。地域貢献したい人も増えている。ぜひ、人を活かすべきと議論された。
- ・なお、このアウトプット間の関係性は、「地域の資源を活かした取り組みが行われている」状態とするためにも「行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいる」をつくり、そして「愛着や誇りを感じる」状態につなげるのだろう、などが話し合われた。

⑬Oグループ

【O-1】模造紙再現版

柏の未来を考える 市民ワークショップ ワークシート

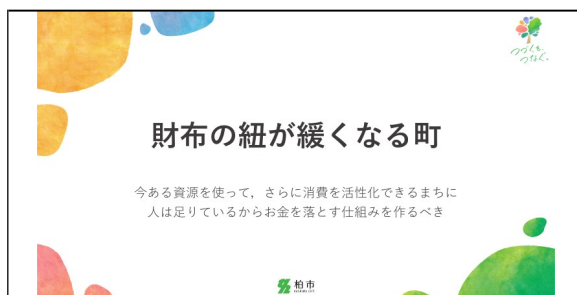
O グループ

⑤ ④の内容をより具体的に表現しましょう。（=ビジョンを達成した具体的なまちの姿）

• そごうにFCの個人事業主や起業家を誘致する →市がそごうを買い取る • 災害に強い町 国道16号沿いだけでは ない企業の誘致を行う	• 市民参画の機会を増やす	• 「柏駅」という資源を最大化する (市役所・図書館・飲食等) コミュニティの中心にする • 手賀沼 最先端と自然のギャップ
YES 5/5 NO 0/5	YES 2/5 NO 3/5	YES 0/5 NO 5/5
企業や起業家の誘致が増える町	子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動がある町	地域の資源を活かした取り組みが行われている町

④①で選んだビジョンを達成するために重要だと思うカードを3枚選び、グループの結果（YES・NO、何人中何人がその答えだったか）と、選んだカードの内容を「～な（まちの）状態」の形に書き換えて転記しましょう。

③別紙参照



①グループで選んだ「ビジョンカード」を貼りましょう



- 個人の市民税に頼らず、工場や企業を誘致し、法人市民税を増加
→財布の紐を緩くする
- 安定的な税収をめざす
→家族が何世代も住み続けられるような街
- 雇用を増やす

②選んだ理由を書き込みましょう

【O-2】ワークシート再現版

回覧板がある地域とない地域がある

④住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う ①小1から50数年在住のため ③子どもの頃から住んでいて一度転居 支援の意味を込めて ④過ごした時間 ⑤大学の思い出 YES • NO 4/5	④愛着や誇りを感じる地域だと思う ①親・家族のそばに住んでいる ②家を建てたので ③△今のままの柏は× 変わっていくならいい? →バリアフリーではない ◎柏の葉は? 高齢者が住みづらい →別の地域に転居できる町に YES • NO 3/5	◎行政と住民の間で情報共有しながら地域の課題解決に取り組んでいると思う ①No このWS初めて知った ②No ③No 住民にフィルターをかけてほしくない、弱者（高齢者、障害者）もWSの取り組み ④Yes 他市との同じ取り組みをしていても認知されていない ⑤No YES • NO 4/5	◎政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う ①No 保育園とデイサービスを同じ施設に入れる ②No 世代間の関わりがない ③No 同じく多様性を理解し合える場がない YES • NO 5/5
◎これから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う ①Yes コロナ禍はなかったが今はある活動はしてるのでYes ②No 皆が参加できていない ③No 開催はしているが参加ができない ④No 活動はしているが周知× ⑤Yes YES • NO 3/5	◎住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う ①No 若い人が地域のお祭りなどに不参加 ②No 町内会は何をやっているかわからない ③No ④No ⑤No YES • NO 5/5	◎地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う ①Yes 東口のマンション、柏の葉など開発がされている ②Yes 車のナンバーより転居多いと推測 ③Yes ④Yes 市外の人には選ばれている ⑤Yes 社会 増 YES • NO 5/5	◎子供が元気に遊んでいる地域だと思う ①Yes 公園が多い ②Yes 公園は小さいが一応あるため ④Yes 公園+施設 全て子どもあそびやすい YES • NO 3/5
◎緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う YES • NO 5/5	◎理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む） ①No シングルファーマー →市からの補助金なし ②No インフルのワクチン計6,000円 他市に比べて割高 YES • NO 5/5	◎治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う ①Yes 以前に比べ改善されたため ②Yes 気にしたことはない ③△ 風営法にひっかかるお店、よびこみがない 柏の葉、ツタヤらへんのTサイトに人がたまる YES • NO /	◎にぎわいや活気があるまちだと思う ・道の駅 ・柏の葉公園などにぎわっている YES • NO 4/5
◎地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組が行われていると思う ・道の駅 ハードはいいが ・スポーツチームがあるが、ソフト面での広報が足りない YES • NO 5/5	◎企業や起業家の誘致が増えていると思う ・企業への補助金がある ・産官学で推進している YES • NO 3/5	◎優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う ・手賀沼 ・利根川も近く YES • NO 5/5	0 グループ

【O-3】話し合いの要点

1 ビジョンカードの選定

- ・5つのビジョンカードの全てが選ばれ、最終的に選定されたビジョンカードは「財布の紐が緩くなる町」であった。
- ・その理由は、個人市民税に頼らなくてよいように、沼南やアリオ周辺を活用して工場や企業をたくさん呼び込んで法人市民税を増やすことにより、個人を豊かにして財布の紐を緩くする。また、安定的な税収を確保するために、柏市に住みたいと思う人が、家族で何世代も住み続けられるようにする、というものであった。

2 ダイアログカード

《A：まちのウェルビーイング》については、そう思うという意見が多かった。定住したい理由としては、子どもの頃から住んでいる、大学時代を過ごしている、などがあげられた。また、愛着や誇りを感じる理由としては、親や家族が近くに住んでいる、家を建てた、などがあげられた。

《B：行政との共創のしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。高齢者や障害者、介護をしている人など色々な人たちがワークショップへ参加できる方がよい、地域によって回覧板のないところもある、他市と同じ取組をしても認知されない、などがあげられた。また、世代間の関わりがない、関わらないと知らないままで受け入れづらい、高齢者や障害者など多様性を尊重し合える場がない、などがあげられた。保育園とデイサービスを併設して交流するなど具体的な対策も議論された。

《C：地域とのつながりやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。地域活動しているが皆が参加できていない、活動はしているが周知できていない。また、町内会は何をやっているかわからない、若い人に町内会が受け入れられない、若い人が地域の祭りなどに参加していない、などがあげられた。一方、地域外の人への受け入れについては、柏駅東口や柏の葉などが開発されている、駐車場の自動車のナンバーから市外からの転居が多い、または市外の人々が柏市で買い物しているのか、どちらにしても柏市を受け入れてくれていると実感する、などがあげられた。

《D：くらしやすさ》については、そう思わないという意見が多かった。唯一、公園が多い、子どもにとって遊びやすいなど肯定的意見があげられた。一方、子育てについて、以前は父子家庭では収入制限があり補助を受けられなかった、インフルエンザワクチンは子どもの量は大人の半分なのに値段が同程度で割高である、などがあげられた。また、治安については、以前と比べ治安は改善されたが、柏の葉 T-SITE などに人が滞留していることが指摘された。

《E：地域資源の豊かさ》については、そう思うという意見が多かった。まちのにぎわいや活気については、道の駅や柏の葉公園などがにぎわっていることがあげられた。また、企業や起業家の誘致については、企業向けの補助金がある、産官学の取組がある、などがあげられた。さらに、手賀沼や利根川に近いことがあげられた。一方、地域の資源を活かした取組については、道の駅の施設はよいが、市内のスポーツチームなどのソフト面での広報が足りないことがあげられた。

3 ダイアログカードの選定

- ・「企業や起業家の誘致が増えていると思う」「子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」の3枚が選ばれた。
- ・「企業や起業家の誘致が増えていると思う」については、商業施設を呼び込んでお金を使う場所をつくる、市外から働きに来ていた人たちもお金を落としたいと思わせることが大切。
- ・「子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う」については、子どもも将来、市内でお金を払いたいと思えるようにすることが大切といった議論がなされた。
- ・「地域の資源を活かした取組が行われていると思う」については、市内のスポーツチームの集客力、知名度が低いとお金にならない、柏の名産であるブルーベリーやカブが知られていない、など地域資源が知られていないので、まずは知らせることが必要という議論がなされた。

4 アウトプット

◎企業や起業家の誘致が増える町

- ・そごうに FC の個人事業主や起業家を集めて市がそごうを買い取る、駅前を活性化する、駅前の複合施設で高齢者が子どもの面倒をみる、などのアイディアが出された。市役所の職員が高齢者の施設や子供の施設の近くにいれば、現状を理解しやすくなる、現場を知ることができる。
- ・水害に遭ったことがない災害に強い町であることをアピールし、国道 16 号沿い以外にも企業を誘致する。16 号渋滞緩和も市側が検討するようになれば、市民とっても良い。
- ・手賀沼の花火大会では、我孫子側は車両を通行止めにして安全で見やすくしているため人が流れてしまう。柏側も規制をするなど対策が必要である。また、手賀沼に宿泊施設をつくって、普段会えない人たち（最近の家はあまり広くないので人を呼んで集まることができない市民等）のふれあいの場としてはどうか、などの議論がなされた。

◎子どもから高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動がある町

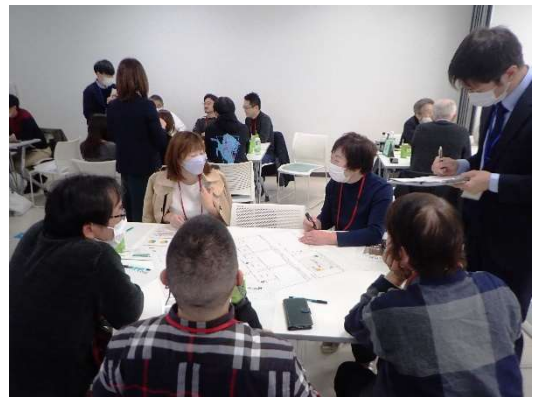
- ・子どもや高齢者でもワークショップに参加しやすいよう、市民参画の機会を増やす。バリアフリー化などにより、声を出したくても来られない人が出ないようにすることが望ましい。立場が違えば違った意見が出てくるし、「車いすの人達は（みんな）こう思っているだろう」等という安易な固定意見が変わってくるので、様々な立場の市民が触れ合う機会を持つことは重要という議論がなされた。

◎地域の資源を活かした取組が行われている町

- ・柏駅という資源を最大化するため、市役所や図書館、飲食店などを充実し、コミュニティの中心とする。道の駅は車を運転する人しか利用できないので柏駅に道の駅を呼んではどうか、といった議論がなされた。
- ・何か災害があっても柏駅に行けば何とかかなると思えば、市民も税金を払いたくなる。また、国道 16 号と並走する道にバイパスを作り、駅から市民だけが使えるようにして渋滞を回避してはどうか。動線を確保しないと動きが取れずお金を落とせない、などのアイディアもあった。
- ・手賀沼については、最先端な面と自然のギャップを活かすとよい。

(3) 当日の様子





3. 総括

(1) 市民の現状認識は「まちのウェルビーイング」の評価が高く、「行政との共創のしやすさ」の評価は低い

ダイアログカードのワークを通して、市民の考えるまちの現状を明らかにした。なお、本項では、参加者全体の傾向を詳細に見るために、班単位ではなく、個人単位の回答を集計している（●表1のとおり）。

■図1 評価が高い項目と主な理由

《A：まちのウェルビーイング》や《D：くらしやすさ》のカテゴリについては評価が高い。

1位

A「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」（86.4%）
：都市と自然のバランス、利便性の高さ、人と人とのつながり

2位

D「治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う」（82.0%）
：以前と比べて柏駅周辺の治安が改善

3位

D「子供が元気に遊んでいる地域だ
と思う」（78.8%）
：公園が多い、遊ぶ姿をよく目にする

E「にぎわいや活気があるまちだと思
う」（78.8%）
：市街地に活気、TX 沿線の人口増

5位

C「地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う」（74.2%）
：新興住宅地は受け入れる雰囲気がある

■図2 評価が低い項目と主な理由

《E：地域資源の豊かさ》や《B：行政との共創のしやすさ》のカテゴリについては評価が低い。

1位

E「企業や起業家の誘致が増えていると思う」（81.7%）
：柏の葉地域以外では実感がない

2位

E「地域の資源を活かした取組みが行われていると思う」（77.3%）
：豊かな資源を活かせていない、発信不足

3位

C「住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う」（75.8%）
：人や居住地域によって差がある

4位

B「行政と住民の間で情報共有をしな
がら地域の課題解決に取り組んでいると思
う」（72.7%）：情報が伝わっていない

B「政策推進や地域活動に多くの住民を
巻き込む工夫が見られると思う」
（65.2%）：より多くの機会が必要

●表1 市民から見たまちの現状認識

カードのカテゴリ	ダイアログカードの内容	A (5)		B (4)		C (5)		D (6)		E (5)		F (6)		G (4)		I (6)		J (5)		K (6)		M (4)		N (5)		O (5)		割合		選定順位
		Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	YES	NO	
A まちの ウェルビー イング	住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う	3	2	4	0	5	0	4	2	4	1	5	1	4	0	6	0	5	0	6	0	2	2	5	0	4	1	86.4%	13.6%	1位
	愛着や誇りを感じる地域だと思う	2	3	4	0	3	2	5	1	3	2	3	3	3	1	6	0	5	0	6	0	4	0	1	4	2	3	71.2%	28.8%	
B 行政と 共創の しやすさ	行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う	2	3	1	3	0	5	0	6	3	2	0	6	0	4	4	2	0	5	1	5	4	0	2	3	1	4	27.3%	72.7%	4位
	政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う	1	4	4	0	1	4	1	5	3	2	4	2	1	3	0	6	0	5	0	6	3	1	5	0	0	5	34.8%	65.2%	5位
C 地域との つながり やすさ	子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う	4	1	4	0	4	1	6	0	2	3	3	3	1	3	6	0	1	4	1	5	3	1	5	0	2	3	63.6%	36.4%	
	住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う	0	5	3	1	4	1	0	6	0	5	0	6	0	4	1	5	3	2	0	6	0	4	5	0	0	5	24.2%	75.8%	3位
	地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う	3	2	4	0	5	0	2	4	3	2	6	0	4	0	4	2	0	5	5	1	3	1	5	0	5	0	74.2%	25.8%	5位
D くらし やすさ	子供が元気に遊んでいる地域だと思う	2	3	4	0	5	0	4	2	2	3	4	2	4	0	4	2	5	0	6	0	4	0	5	0	3	2	78.8%	21.2%	3位
	緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う	2	3	2	2	2	3	2	4	2	3	4	2	0	4	5	1	3	2	1	5	1	3	0	5	0	5	36.4%	63.6%	
	理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む）	0	5	3	1	4	1	5	1	1	4	6	0	4	0	0	6	1	4	0	6	4	0	2	3	0	5	45.5%	54.5%	
	治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う	4	1	4	0	4	1	3	3	4	1	6	0	4	0	5	1	3	2	6	0	2	2	5	0	-	-	82.0%	18.0%	2位
E 地域資源 の豊かさ	にぎわいや活気があるまちだと思う	3	2	4	0	5	0	2	4	2	3	6	0	4	0	4	2	5	0	6	0	2	2	5	0	4	1	78.8%	21.2%	3位
	地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組みが行われていると思う	4	1	2	2	4	1	0	6	0	5	1	5	0	4	3	3	0	5	0	6	1	3	0	5	0	5	22.7%	77.3%	2位
	企業や起業家の誘致が増えていると思う	0	5	3	1	0	5	0	6	0	5	0	6	0	4	0	6	0	5	-	-	0	4	5	0	3	2	18.3%	81.7%	1位
	優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う	5	0	4	0	3	2	2	4	5	0	2	4	4	0	5	1	1	4	3	3	4	0	5	0	5	0	72.7%	27.3%	

（注）割合の列では上位5項目について「YES」を赤、「NO」を青で示している

(2) 最も多く選ばれたビジョンカード（将来都市像）は「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」

市民ワークショップの前に開催したワカモノワークショップにおいて、参加者の若者たちが、「未来の柏のキャッチフレーズ（将来都市像）」を紡ぎ出した。この将来都市像を、市民ワークショップでは「ビジョンカード」として活用し、グループごとに、自分たちの目指す将来都市像に近いものを1つ選定した。

■図3 選定されたビジョンカードとその理由

1位 多様なコミュニケーションから広がる温かい柏（9グループ）

選定理由：コミュニケーションが他の4つのビジョン実現の基本となるから 他

2位 よし！出かけよう ロングライフ アウトドアなまち（2グループ）

選定理由：持続可能なまち、子どもも大人も楽しむことを表すから 他

3位 財布の紐が緩くなる街（1グループ）

選定理由：安定的税収の確保が重要

3位 駅から始まるエコで優しいバス 手軽で手賀れる柏！（1グループ）

選定理由：公共交通充実、手賀沼活用が重要

最も多く選定されたカードは「多様なコミュニケーションから広がる温かい柏」で、13グループ中9グループが選んだ。理由としては、コミュニケーションが他の4つのビジョン実現の基本となると考えられたことや、多様なバックグラウンドを持つ参加者が集まったことから、より多くの人の意見を包含しうる表現が選ばれたものと見られる。

「よし！出かけよう～」の選定理由は、「ロングライフ」や「アウトドア」から、持続可能なまちや、子どもから大人まで楽しめて、コミュニティ形成や経済発展にもつなげられるまちなど広がり・深みを持たせられることがあげられた。「財布の紐～」については、個人市民税収入に頼らなくてよいように法人市民税を増やし、安定的な税収を確保することが重要と考えられたためである。「駅から始まる～」については、公共交通機関の充実、手賀沼の開発や自然の有効活用が重要と考えられ、選定された。

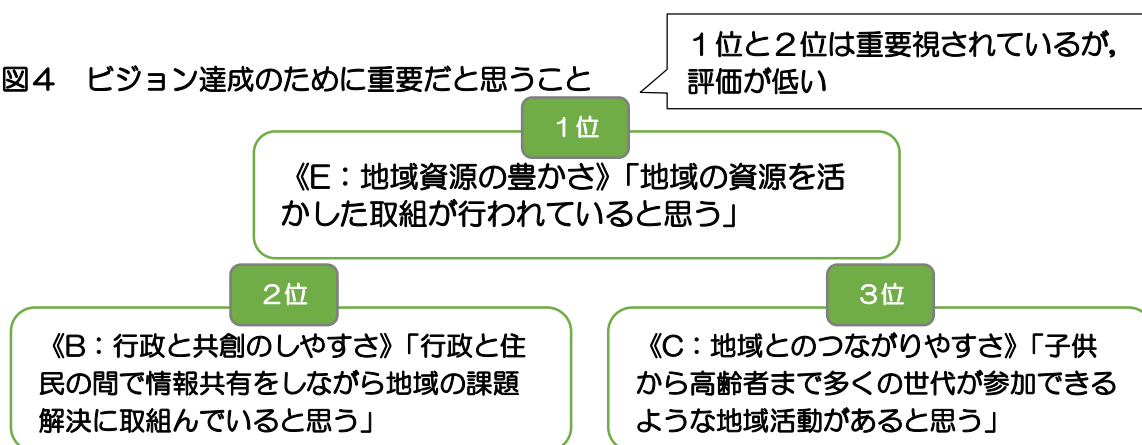
一方、「童心～」が選ばれなかった理由としては、童心とは何かの解釈が難しい、子どもがいないと身近に感じられないことなどがあげられた。

(3) ビジョン達成には「地域資源の活用」「行政と住民の情報共有」「多世代の参加」を重要視

グループごとに選定したビジョンを達成するために重要だと思うダイアログカードを選定した。結果、どのビジョンを選んだグループでも、《E：地域資源の豊かさ》が重要とされ、その中でも「E 地域の資源を活かした取組が行われていると思う」が最も多く挙げられた。

総じて、ビジョン達成のために重要と考えられたダイアログカードについて、**そう思わない（NO）が多かった**が、これは、そう思う（YES）を伸ばすより、そう思わない（NO）を改善することに着眼したためと考えられる。

■図4 ビジョン達成のために重要だと思うこと



●表2 「ビジョン達成に重要なダイアログカード」選定結果

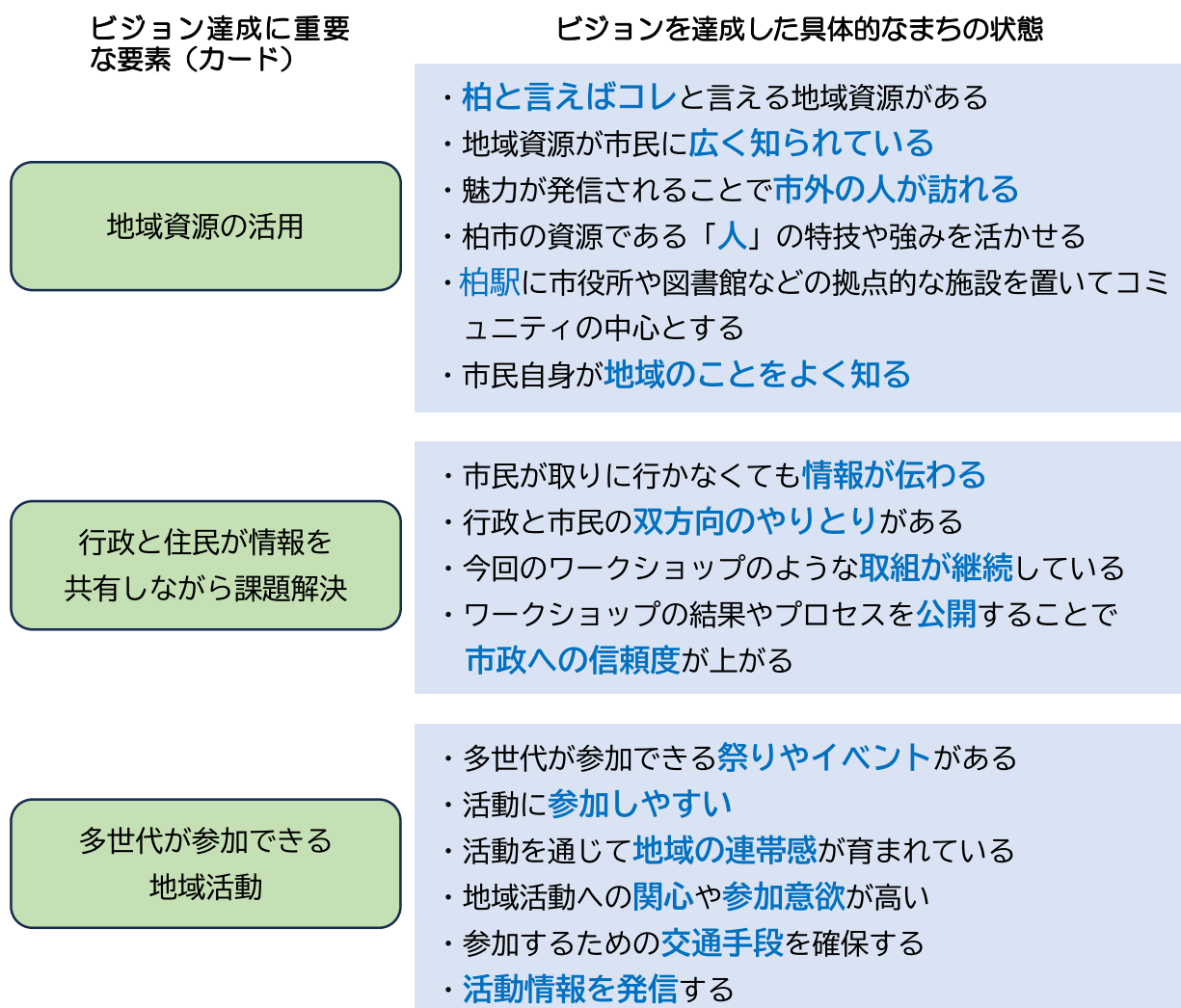
カードのカテゴリ	ダイアログカードの内容	「ビジョン達成に重要である」として選定したグループ数	カードに対するグループの考え		選定順位
			YES (そう思う)	NO (そう思わない)	
A まちのウェルビーイング	住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う	1	0	1	2位
	愛着や誇りを感じる地域だと思う	1	1	0	
B 行政と共創のしやすさ	行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う	6	2	4	
	政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う	2	0	2	
C 地域とのつながりやすさ	子供から高齢者まで多くの世代が参加できるような地域活動があると思う	5	3	2	3位
	住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加している人が多いと思う	1	0	1	
	地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う	1	0	1	
D くらしやすさ	子供が元気に遊んでいる地域だと思う	0	0	0	
	緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う	0	0	0	
	理想の子育てができるような環境があると思う（子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含む）	3	2	1	
	治安が良く、安心して暮らせるまちだと思う	3	2	1	
E 地域資源の豊かさ	にぎわいや活気があるまちだと思う	2	1	1	1位
	地域の資源（産業、文化・芸術・歴史・環境・自然）を活かした取組が行われていると思う	9	1	8	
	企業や起業家の誘致が増えていると思う	3	1	2	
	優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれているまちだと思う	1	0	1	

（注）選んだビジョンカードを問わずすべてのグループを集計

（４）市民が考える「ビジョンを達成したまちの姿」と実現への方策

ビジョン達成に重要なダイアログカード上位３つについて、各グループで話し合い、解像度を上げることで、「ビジョンを達成したまちとは、具体的にどのような状態か」を導き出した。

■図５ ビジョンを達成したまちの状態



4. 資料

資料①募集チラシ



現在、柏市役所では新たな総合計画の策定に取り組んでいます。新たな総合計画では、柏市の未来に向けてどのようなことを入れていくべきか、ワークショップを通じてみなさんとともに考えます。

申込方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ▶別紙「『市民ワークショップ』参加のお願い」下部キリトリ線以下を切り離し、返信用封筒でご返送
- ▶右記二次元コードよりお申し込み

場所 ラコルタ柏（教育福祉会館）

定員 100名 ※会場の都合により、定員を超えた場合は抽選となります

柏市役所企画部経営戦略課 ☎04-7167-1117

タイムスケジュール（予定）

開場 12:30 → 開会 オリエンテーション 13:00 → ワークショップ 13:30 → 閉会 17:00

開催場所のご案内

所在地
柏市柏5-8-12
※柏市役所本庁舎の隣の建物

アクセス

- ▶公共交通機関
JR常磐線・東武アーバンパークライン 柏駅東口より徒歩約10分
- ▶自家用車
一般車両は市役所駐車場をご利用ください※ラコルタ柏の駐車場は身障者用駐車場、自転車・バイク駐輪場のみ

託児について

対象
令和5年4月2日時点で満1歳以上～5歳（平成29年4月2日～令和4年4月1日生まれ）のかた

申込方法
別紙参加申込書または申込フォームに必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。後日持ち帰等をご案内いたします。
※当日の急な託児は対応いたしません。

総合計画とは

総合計画とは、まちの目指すべき方向を示すもので、柏市がどんなまちを目指して、そのために何をしていくのかについて、まとめたものです。
いま、柏市では、目まぐるしく変化する社会情勢を鑑み、新しい時代に向けたまちづくりの指針となる「新しい総合計画」の策定に取り組んでいます。

問い合わせ先

柏市役所企画部経営戦略課
電話：04-7167-1117・FAX：04-7167-1210

資料②ビジョンカード

多様なコミュニケーション
から広がる温かい柏

コミュニティ（治安回復、名産品、友達・家族、交通機関 など）すべての交流

柏市

財布の紐が緩くなる町

今ある資源を使って、さらに消費を活性化できるまちに
人は足りているからお金を落とす仕組みを作るべき

柏市

よし！出かけよう
ロングライフ
アウトドアなまち

子どもにも大人にも暮らしやすい安全なまち。外にでかけたら、たのしきであふれている柏であってほしい。事故の少ない多様なスポーツもできる安心なまち。

柏市

童心になれる街、柏

親・子ども目線で考えて過ごしやすいまち。
童心を忘れなければ、駅周辺の治安や緑あふれる公園を維持できる。

柏市

駅から始まる
エコで優しいバス
手軽に手賀れる柏！

公共バスが不足している中、気軽に乗って手賀沼などの自然と過ごす！
（自動運転・EVなど）

柏市

資料③ダイアログカード

① まちのウェルビーイング 愛着や誇りを感じる地域だと思う 2-1 YES 	① まちのウェルビーイング 住んでいる地域に これからも住み続けたいと思う 2-2 YES 	② 行政との共創のしやすさ 政策推進や地域活動に多くの住民を 巻き込む工夫が見られると思う 4-2 YES 
② 行政との共創のしやすさ 行政と住民の間で情報共有をしながら 地域の課題解決に取り組んでいると思う 4-4 YES 	③ 地域とのつながりやすさ 子どもから高齢者まで多くの世代が 参加できるような地域活動があると思う 5-6 YES 	③ 地域とのつながりやすさ 住んでいる地域をより良くしたり 盛り上げたりする活動に 参加している人が多いと思う 5-7 YES 
③ 地域とのつながりやすさ 地域外の人を受け入れようとする 雰囲気があると思う 6-1 YES 	④ くらしやすさ 理想の子育てができるような環境が あると思う（子育てに関する家族や地域、 会社のサポート、社会制度などを含む） 7-1 YES 	④ くらしやすさ 子どもが元気に遊んでいる 地域だと思う 7-5 YES 
④ くらしやすさ 治安が良く、安心して 暮らせるまちだと思う 10-4 YES 	④ くらしやすさ 緊急時に必要な情報（防災・安全など） をすぐ入手できる環境が整っていると思う 10-6 YES 	⑤ 地域資源の豊かさ にぎわいや活気があるまちだと思う 12-1 YES 
⑤ 地域資源の豊かさ 企業や起業家の誘致が 増えていると思う 12-4 YES 	⑤ 地域資源の豊かさ 地域の資源（産業・文化・芸術・歴史、 環境・自然）を活かした取組みが 行われていると思う 12-6 YES 	⑤ 地域資源の豊かさ 優れたまちなみや景観、自然環境に 恵まれているまちだと思う 14-1 YES 